

ちくさん クラブ 21

ニッポンの美味しいを共に創る

2023
vol.143

第12回 全国和牛能力共進会 「和牛新時代 地域かがやく和牛力」 41道府県から計438頭が集結	02
教えて!中研 (肉牛、乳牛、養豚、養鶏) 2022年のトピックス	08
連載 Dr.ジニアのMyカルテ 養豚における衛生検査の重要性	12
共創するチカラ (京都府/株式会社ミルクファームすぎやま) 元気に育った牛から作る“飲みやすい牛乳” 牧場発のモッツアレラチーズが人気	14
NEWS 「全農酪農セミナー2022」開催のご案内	18
資材紹介 「ヨロイ」落としの厳格化について	19
NEWS 第6回和牛甲子園に向けて	20
連載 ZEN-NOH海外レポートVol.13	22
資材紹介 「Hapimo P-Scale」	24
情報 JACCネット和牛枝肉共励会/子牛市場	26
マーケット情勢	28



全農

JA全農グループ



日本の畜産経営をみんなで支える 配合飼料安定基金

令和5年度は第15基本契約期間(令和3～6年度)の3年目です。

- 1 新規加入の方は基本契約書兼数量契約書の締結が必要です。
- 2 3年目となりますので、今年度から加入される方は別途納付金がかかります。



ポイント
1

補てん金の交付により、飼料価格の急激な上昇を緩和します(特に急騰の際には国庫負担を含む異常補てんが発動します)。

ポイント
2

急激な価格変動の際には、生産者の積立てた金額以上に補てん金が支出されます。

ポイント
3

積立金は税務上費用計上(損金扱い)にできるため節税しながら将来に備えて積立てできます。



JA / JA全農 / 県連 / くみあい飼料



「種牛の部」で名誉賞を受賞した鹿児島県のパレード

表1. 名誉賞（内閣総理大臣賞）

出品区	出品県・組合	出品者名	名号
種牛の部 第4区	鹿児島県 始良和牛育種組合	拵 正人	やすこ
		藤山 粋	てるはな
		落合 新太郎	さき
肉牛の部 第7区	宮崎県	佐藤 孝輔	尚栄
		有限会社 馬場牧場	弥土52の3
		神田 譲市	第33凛太郎

あわせて、オレイン酸など脂肪の質の改良に向けた肉牛区（第7区＝脂肪の質評価群）を新設。脂肪交雑に力を入れてきた和牛の改良を、脂肪の量から質に転換させることを目的にした。「和牛新時代」の象徴ともいわれ、消費者ニーズの変化をふまえた。各区最高位の優等賞1席は、開催地・鹿児島県が、大会の「花形」とされる第6区（総合評価群）を含め、6つの区で獲得。宮崎県が第7区など2つ、大分県が1つの区（2区＝若雌の1）で同1席に選ばれた。九州勢が優等賞1席を独占了。

名誉賞は、各出品区の最高位・優等賞1席の中からそれぞれの最高位として選んだ。優れた子牛を作る

能力を評価する「種牛の部」では、第4区優等賞1席の鹿児島県、枝肉を審査する「肉牛の部」は、第7区同1席の宮崎県を選んだ。鹿児島県が「種牛の部」で名誉賞を獲得したのは1992年の大分全共以来で、6大会ぶり。宮崎県の「肉牛の部」名誉賞は、2017年の宮城全共に続いて2大会連続となった。

「種牛の部」で名誉賞を獲得した鹿児島県の始良和牛育種組合は、「地域の特色ある牛づくりを（飼いやすさや繁殖能力につながる）種牛性という形で表現していた」と評価された。

「肉牛の部」で名誉賞を獲得した宮崎県は和牛の「おいしさ」の新指標として注目される一価不飽和脂肪酸（MUF A）予測値の平均値が63・4％。同区の全出品群の中で最も高く、「おいしい牛肉の先駆けとなることを期待したい」と講評された。

産地の総合的な成績に当たる「出品団体表彰」は、兵庫、大分、宮崎、鹿児島各県が受賞した。今大会から順位はつけず、①特別区を除く五つ以上の区に出品②出品した全ての区で上位の「優等賞」を獲得の基準を満たした全産地を表彰した。

表2. 【種牛の部】各出品区優等賞1席

出品区		出品県・組合	出品者名	名号	血統		
					父	母	母方祖父
1区	若雄	鹿児島県	鹿児島県肉用牛改良研究所	白浜喜	喜亀忠	しらきこはま24	華春福
2区	若雌の1	大分県	後藤 克寿	さだの5	隆之森	さだふじ	安茂勝
3区	若雌の2	宮崎県	林 秋廣	こうみほ	耕富士	まいみほ	美穂国
4区	繁殖雌牛群	鹿児島県 始良和牛育種組合	拵 正人	やすこ	華春福	やすふく	安福久
			藤山 粋	てるはな	華春福	てるただ	喜亀忠
			落合 新太郎	さき	幸紀雄	はるよし	喜亀忠
5区	高等登録群	鹿児島県 鹿児島県支部曾於支所	宮園 春雄	こづる	安福久	きりこ	平茂勝
			宮園 春雄	なつみ	華春福	こづる	安福久
			宮園 春雄	さくら	喜亀忠	なつみ	華春福
6区	総合評価群	種牛群・鹿児島県 肝属和牛育種組合	鶴田 くみ	すみれひめ	安亀忠	すみれ	華春福
			上別府 楨	いつみ92	安亀忠	いつみ9	若百合
			上別府 楨	ひでこ	安亀忠	はなみ	華春福
		肉牛群・鹿児島県	前田 龍二	かりなきよ	安亀忠	かりな	安福久
			(有)江籠畜産	亀吉	安亀忠	はるか	百合茂
			(株)中山畜産	誠司37	安亀忠	第4しま10	若百合
		新地 正清	速子1154	安亀忠	そくこ115	華春福	



第12回

全国
和牛能力
共進会

令和初開催！
「和牛新時代 地域かがやく和牛力」
41道府県から計438頭が集結

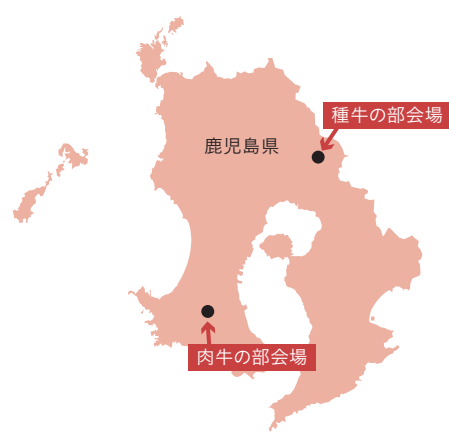
和牛の能力や飼養管理技術の向上を目指す第12回全国和牛能力共進会（以下、全共）が10月6日から10日まで、鹿児島県霧島市と南九州市の2会場で開かれた。過去最多の41道府県から参加した生産者が、和牛の改良成果や枝肉の優良性を披露。会場には5日間で約31万人が来場するなど、活気を見せた。

鹿児島全共
同じ県で2回目は史上初

1966年に岡山県で開かれて以来、今大会で12回目となる全共。5年に一度開催され、「和牛のオリンピック」とも呼ばれている。鹿児島県での開催は70年以来2度目で、同一県での2回目開催は初めて。

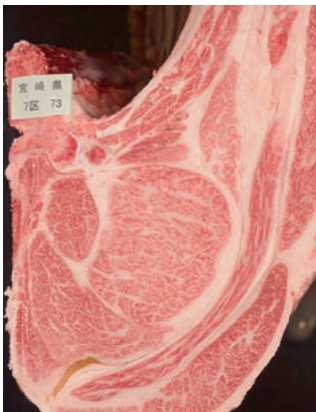
今回は種牛248頭、肉牛166頭、特別区24頭の計438頭が出品された。「和牛新時代 地域かがやく和牛力」を開催テーマに、これまでの方針を踏襲するとともに新たな改良目標として、おいしさに関係

する「脂肪の質」にも着目。脂肪の質の育種評価の実施を条件に加えるとともに、食味性の向上に寄与する種雄牛の発掘を促すよう年齢制限をした。





セリ会場



1kg10万円で落札された枝肉
提供：公益社団法人全国和牛登録協会



第7区優等賞1席の
佐藤孝輔さん(宮崎県)

肉牛の部の枝肉セリは、注目の新設区・第7区（脂肪の質評価群）で優等賞1席に輝いた宮崎県高千穂町の佐藤孝輔さんの出品枝肉が、1kg10万円（税別）の過去最高値で落札された。佐藤さんは名誉賞も受賞し、脂肪の質を重視した今大会のテーマ「和牛新時代」の幕開けを印象づけた。

最高値1kg10万円で落札 第7区1席の佐藤さん(宮崎県)

〔特集〕肉牛の部(6～8区)
脂肪交雑↓脂肪の質を重視

上位入賞には、和牛の風味などに関係するとされるオレイン酸などのMUFAの数値がカギを握るとされる。最高値となった佐藤さんの出品牛は脂肪の質に優れ、MUFAの予測値は65・1と、第7区トップの数値だった。格付けはA5等級で、BMS No.12、枝肉重量は436・9kg。血統は父「第5安栄」、母の父「勝平正」。佐藤さんは元JA職員で、結婚を機に25歳で初めて和牛の世界に飛び込んだ。家族や先輩、JAの指導を一生懸命吸収し、牛にストレスを与えない飼養管理に注力してきた。佐藤さんは「畜産を取り巻く環境はとも厳しいが、就農を目指す若い人たちに少しでも夢を与えられたら嬉しい」と前を向く。



第8区 去勢肥育牛 優等賞1席の枝肉
(鹿児島県)
提供：公益社団法人全国和牛登録協会



第6区 総合評価群・肉牛群 序列1位の枝肉
(島根県)

第8区（去勢肥育牛）は鹿児島県鹿屋市のうしの中山（中山高司さん）が優等賞1席に輝き、最優秀枝肉賞も受賞した。枝肉は1kg5万6140円の高値で落札された。また、第6区（総合評価群）の肉牛群序列1位は、島根県が勝ち取った。審査講評で島根県は「脂肪の質が優れており、肉量と肉質を含めた総合的なバランスが良かった」と評価された。

第8区1席は鹿児島県 第6区肉牛群序列1位は島根県

表4.【肉牛の部】各出品区優等賞1席(6区は序列1位)

出品区		出品県	出品 番号	名号	血統			生体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	歩留 (%)	ロース芯 面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	BMS No.	MUFA 予測値
					父	母方祖父	母方曾祖父							
第6区	総合評価群 肉牛群	島根県	16	柿丸	久茂福	安福久	平茂勝	778	499.0	77.0	77	8.1	12	52.3
			17	薩摩王	久茂福	安福久	平茂勝	673	450.9	78.6	81	8.4	12	54.9
			18	霞久茂432	久茂福	恵茂勝	平茂勝	760	491.2	74.8	66	7.9	8	67.4
第7区	脂肪の質 評価群	宮崎県	73	尚栄	第5安栄	勝平正	福桜(宮崎)	693	436.9	77.0	73	7.7	12	65.1
			74	弥土52の3	第5安栄	美穂国	上茂福	630	392.8	74.8	56	6.7	11	62.6
			75	第33凛太郎	第5安栄	真華盛	勝平正	729	478.6	74.9	56	10.2	11	62.6
第8区	去勢肥育牛	鹿児島県	148	南迫	華忠良	百合茂	安福久	865	565.5	78.6	97	8.3	12	58.1

第6区(総合評価群・肉牛群)、第7区(脂肪の質評価群)の優等賞1席を受賞した牛群の枝肉は、ちくさんクラブ21のWebサイト(<https://www.chikusan-club21.jp>)をご覧ください。

一名誉賞

うまいねと
いってもらえる
肉をこれからも

肉牛の部(宮崎県)



左から佐藤さん、馬場さん、神田さん

佐藤孝輔さん：感無量で、嬉しいという言葉で一杯だ。出品できた牛に感謝。本当にたくさんの仲間たちが支えてくれたので、支えてくれた宮崎県の仲間たちに感謝している。高値で購買してくれた会社にも感謝したい。

馬場幸成さん：このような素晴らしい賞を受賞できて嬉しい。地域の仲間のおかげだ。賞は、生産に携わった全員に贈りたい。それほど助けてもらい、ここまでやって来ることができた。第7区は、食べた時に「おいしい」といってもらえる区だと思っている。皆さんに食べてもらって「おいしい! 宮崎牛は本当にうまいね」といってもらえる肉をこれからも作っていきたい。

神田譲市さん：今回の全共は、「和牛新時代 地域かがやく和牛力」というテーマがあり、それを目標に頑張ってきた。目標通り、日本一をとることができ、これ以上の喜びはない。

先人が築いた
礎の上に
成り立っている

種牛の部(鹿児島県)



左から落合さん、藤山さん、拵(かこい)さん

落合新太郎さん：地元開催で「日本一を!」という機運が高く、自分たちもそういう思いでやってきたので、名誉賞を獲得できて嬉しい。序列を決める時、鹿児島の名前が呼ばれるたびに応援席からひと際大きな拍手が聞こえ、鳥肌が立った。

藤山粋さん：前回大会から鹿児島県の出品者ブースがすごく協力的で、地区を超えてやってきた。今回は更に上を目指そうということで、大会関係者も県内の生産者も「チーム鹿児島」として地域が一丸となっていた。改良は一朝一夕ではできず、これまで礎を築いてくださった先人たちの歴史の中に僕たちがいて、和牛の評価はその上に成り立っていると思っている。

拵正人さん：今大会が初めての参加。皆で力を合わせて受賞できて本当によかった。自分の力だけではどうすることもできなかった。一方で、ここからが勝負だと思っている。今以上のことを考えないと、次の大会では勝てない。



5区で優等賞1席を獲得した鹿児島県の出品牛

〔特集〕種牛の部 第5区・花の第6区

第5区は、直系3代（直接血のつながった母・娘・孫娘）の雌牛3頭を一群として出品し、3代にわたって長所が受け継がれたかなど改良成果を確認した。鹿児島県が優等賞1席を獲得。「初の全共出品で栄冠を手にした。発育良好で、特に中駆の態様の強さや、3頭の身体の締まりがよく似ている」と評価された。出品した鹿屋市の宮園春雄さんは「出品牛は素質が良く、自然に育てたら良い牛になった。最高の気持ちだ」と喜んだ。

表3. 特別賞

賞	出品区	出品県	出品組合・出品者名
体積・均称賞	第3区	宮崎県	林 秋廣
品位賞	第4区	鹿児島県	始良和牛育種組合
背腰賞	第4区	宮崎県	西臼杵支所
斉一性賞	第6区	宮崎県	西臼杵支所
資質賞	第6区	兵庫県	美方郡和牛育種組合
交雑脂肪の形状賞	第6区	鹿児島県	(有)江籠畜産 (株)中山畜産 新地 正清
脂肪の質賞	第6区	島根県	J Aしまね雲南地区本部 吉田肥育センター
脂肪の質の斉一賞	第7区	宮崎県	佐藤 孝輔 有限会社 馬場牧場 神田 譲市
脂肪の質と形状賞	第8区	青森県	(有)金子ファーム
顔品賞	特別区	島根県	島根県立出雲農林高等学校

第6区は、同じ種雄牛を父に持つ生体の雌牛（種牛群）4頭と、去勢肥育牛3頭の枝肉（肉牛群）の両方を審査する。種牛・産肉能力を合わせて評価するため、大会の「花形」として重視される区だ。各地域の改良成果を確認することを狙いとしており、鹿児島県がいずれも2位となり、総合成績で初の同区優等賞1席となった。種牛群の審査講評では「輪郭の鮮明さなど、種牛性に優れている」と評価を受け、肉牛群では突出した堂々とした枝肉と交雑脂肪の細やかさが評価された。

連日大賑わいの全農ブース 来場者へ事業をPR

J A全農は鹿児島全共にブースを出展し、来場した農家に畜産分野での全農の取り組みを直接アピールした。設置されたスケルトンのブースはひと際目を引き、多くの人々がブースを訪れた。訪れた農家などは展示を通じて全農の取り組みに理解を示していた。

特設ブースには、大きく分けて6つの展示を通して畜産生産部が取り組んでいる事業を紹介した。中でも配合飼料事業に関する展示では、全農グループが行うトモロコシなど輸入飼料の調達から農家に届くまでを図や写真を使って説明。調達などを担う系列会社も紹介し、全農が誇る海外ネットワークを訪れた人に伝えた。また、全農が主催する高校生が主役の「和牛甲子園」の紹介ビデオには、多くの高校生たちが足をとめていた。

全農の研究所や、研究所が開発した商品などについても、大小のパネルを使って説明した。研究所の職員もブースで、農家と意見交換をした。



- 7 会場に設置された全農ブース
- 8 全農が配合する飼料を確認する来場者⑧
- 9 展示を見学する学生ら
- 10 来場者に全農の取り組みを紹介するスタッフ⑩



担当者 一言 コメント



ブースで事業をPRしていた笹渡さん

全農畜産生産部 推進・商品開発課 笹渡 翔 さん

私たちは農家の皆さまと直に接する機会として、このような場でPRしたいと思い、ブースを出しました。高校生などこれからの畜産を支える世代にも全農のことを少しでも知ってもらいたい、日本の畜産を盛り上げていけるような関係性を将来にわたって長く続けたいと考えています。

**閉会式に初めて首相が出席
次回開催地の北海道がPR**

閉会式には岸田文雄首相が出席し、生産者らに名誉賞（内閣総理大臣賞）を授与した。現役の首相が全共の閉会式に出席するのは、今大会が初。閉会後、名誉賞を受賞した種牛を見学し、受賞者らを労った。

次回の全共開催地である北海道の関連団体がブースを設置し、開催をPRした。

産地をPRするブースでは「熱い思いを貫け！ 北海道和牛」と書かれたピンク色のタオルなどを販売したほか、訪れた子どもたちにリーフレットが入った布製の袋を配布した。また、ホクレンは道産和牛の試食ブースを設置。整理券を買った訪問者に、作りの和牛入りシチューを振る舞った。

で約320頭、肉牛の部で約200頭の計520頭と、17年の宮城全共と同程度を見込む。具体的な開催地や会場は今後決める。



生産者らに向けてスピーチする岸田文雄首相



子どもたちに北海道全共をPRするブース関係者⑥

- 1 特別区の発表を終え、感極まった学生たち
- 2 特別区の審査会場の様子
- 3 優等賞1席に輝いた曾於高校の生徒ら



表5. 特別区優等賞

席	出品県・校名	出品牛	血統	
			父	母方祖父
優等賞1席	鹿児島県立曾於高等学校	しえな	華忠良	福華1
優等賞2席	宮崎県立小林秀峰高等学校	まひろ	光圀久	秀正実
優等賞3席	岩手県立水沢農業高等学校	みずのうれいか	菊福秀	隆之国
優等賞4席	岡山県立新見高等学校	いろは	藤初花	利花
優等賞5席	島根県立出雲農林高等学校	すずらん	百合五月	久茂福

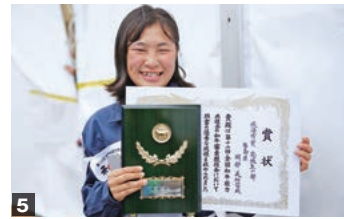
7日には、和牛の能力を見極める力を競う「和牛審査競技会」も開催され、60人の農高生、若手後継者らが参加した。全共の審査のように、外見から能力を見る目を養うのが目的。高校生の部で福島県立磐城農業高校2年の岡部美知留さん、

和牛審査競技会、 交流会で他校と交流

の恩返しができた」と語った。同2席には宮崎県立小林秀峰高校の出品牛「まひろ」（光圀久、秀正実）、同3席には岩手県立水沢農業高校の「みずのうれいか」（菊福秀、隆之国）が選ばれた。



- 4 交流を深める農高生ら
- 5 和牛審査競技会、高校生の部で最優秀賞となった岡部美知留さん（福島県立磐城農業高等学校）
- 6 和牛審査競技会、女性・後継者の部で最優秀賞となった武井洋太さん（群馬県）（写真左手前）



また、前日の夜には特別区に出場した高校生、大学校生の歓迎交流会が開かれた。出場校に加え、運営に協力した県内農高生や教員も含め、約220人が参加。鹿児島産の牛肉や豚肉のバーベキューなどに舌鼓を打ち、他校との交流で盛り上がった。

未来の担い手たちが 切磋琢磨

鹿児島全共から新たに設けられた高校・農業大学校が対象の特別区。24道県が参加し、未来の担い手の育成と確保、和牛への理解醸成を目的に、学校で生産・飼養した14〜20カ月齢未満の雌牛1頭の評価と、生

徒・学校による取り組み発表も審査の対象にした。「しえな」（父＝華忠良、母の父＝福華1、以下同）を出品した鹿児島県立曾於高校が優等賞1席に輝いた。

出品牛の審査講評で「しえな」は「体上線が平直で輪郭が鮮明」との評価を受けた。引き手を務めた同校3年の矢野輝星さんは「とても嬉しい。最初からいうことを聞いてくれて、本番ではきつい姿勢なのに数十分もきれいに立ってくれた。指導してくれたJAの指導員や地域の農家へ

【特集】特別区 高校生及び農業大学校



乳牛

搾乳ロボット飼養管理における牛の行動とルーメン性状

搾 乳ロボット飼養では、牛ごとに搾乳タイミングが異なり、搾乳ロボット内で個別に配合飼料を給与するなど、独特の管理方法が取られます。今回は、搾乳ロボット飼養管理での牛の行動と、ルーメン性状に及ぼす影響についてご紹介します。

搾乳ロボット飼養管理での牛の行動

搾乳ロボット飼養は、牛の行動にどのような影響を及ぼすのでしょうか？ 当室では、搾乳ロボット牛舎で飼養されている牛の行動観察を実施し、採食（※1）・飲水・横臥・反すう・搾乳に分類して行動時間を調査しました（表1）。

従来のフリーストール・パーラー搾乳管理で報告された行動時間（Grant, 2007）と比較すると、搾乳ロボット飼養管理では搾乳にかかる時間が大幅に短いことが分かりました。パーラー搾乳では同じタイミングで全頭搾乳するため、待機時間を含めた搾乳時間が長くなりやすいのに対し、搾乳ロボットは牛ごと

※1. 採食時間は、群全体に給与した混合飼料（Partial Mixed Ration; PMR）摂取時間と、搾乳ロボット内での配合飼料摂取時間を合計。

表1 搾乳ロボットとフリーストール・パーラー搾乳での行動時間（時間/日）

行動分類	搾乳ロボット管理 （当室での調査結果）	フリーストール・パーラー搾乳管理 （Grant, 2007）
採食	4.8 （PMR摂取時間+搾乳ロボット訪問時間）	3~5
飲水	0.5	0.5
横臥	11.2	12~14
反すう	7.8	7~10
搾乳	0.4 （搾乳ロボット訪問時間）	2.5~3.5 （待機時間を含む）

に自由なタイミングで搾乳することができます。そのため、短時間で搾乳を完了できたと考えられます。一方、その他の採食・飲水・横臥・反すう時間には、搾乳ロボット飼養管理での明確な特徴は見られませんでした。

搾乳ロボット飼養管理での採食行動とルーメンpH

搾乳ロボット内で、短時間のうちに配合飼料（ロボット飼料）を摂取することは、ルーメンpHを低下させアシドーシス（ルーメン内のpHが酸性になる症状）を引き起こすことが懸念されます。当室では、先ほどの行動観察とあわせて、牛のルーメンpHを経時的に計測し、採食行動ごと（PMR摂取とロボット飼料摂取）のpH変化の違いを調査しました。

その結果、採食行動後4時間まで

図1 PMR 採食とロボット飼料採食後のルーメンpHの変化

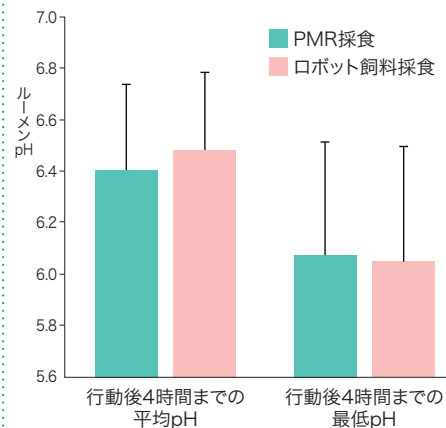
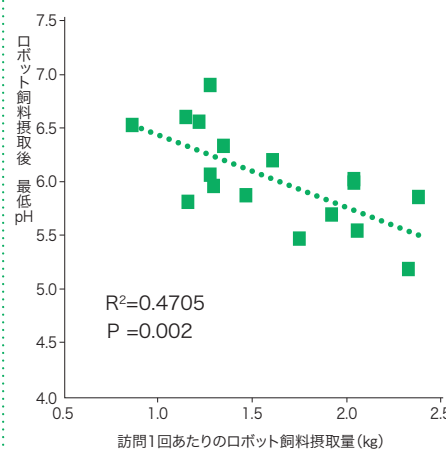


図2 1回あたりのロボット飼料摂取量とルーメンpHの関係



のルーメンpHに、採食行動による違いは見られませんでした（図1）。また、訪問1回あたりのロボット飼料摂取量と、その後のルーメンpHの間には“負の相関”があることが分かりました（図2）。このことから、一度にロボット飼料を摂取しすぎると、ルーメンpHが低下しやすくなると考えられましたが、採食行動ごとのルーメンpHの変化には差がないことから、ロボット飼料摂取自体がPMR摂取と比べてルーメンpHを顕著に下げる要因にはならないことが示されました。



肉牛

黒毛和種肥育におけるβカロテン補給の影響

黒 毛和種肥育では、肥育中期において肉質を向上させるためのビタミンA（以下、VA）コントロールが一般的に行われています。今回は、VAとかわりのあるβカロテンを補給した際の、血液性状及び、肉質への影響をご紹介します。

βカロテンと黒毛和種肥育

βカロテンは体内でVAに変換される物質で、主に粗飼料に含まれます。繁殖牛において血中βカロテン濃度を高めると繁殖機能や受胎成績向上等を示した報告がありますが、肥育牛に対してβカロテンを補給した際の報告は少なく、不明な点が多いのが実情です。

今回の試験では、約18カ月齢の黒毛和種肥育去勢牛10頭を用いて行いました。対照区及び、カロテン区、各区5頭で設定し、両区とも同じ給与体系で飼養し（配合飼料：11.0kg/日、稲わら：1.5kg/日）、カロテン区のみβカロテン製剤100g/日（VAとして24,000IU）を給与しました。

増体成績と血液性状

供試牛の日増体量（DG）、血清中VA及びβカロテン濃度の結果を図1～2に示しました。試験通算DGにおいて、カロテン区が高くなる傾向が見られました（図1）。一方で、29カ月齢時における血清中VA濃度を除きカロテン製剤給与後、カロテン区の血清中VAおよびβカロテン濃度が有意に高くなりました（図2）。カロテン区における通算DGが高くなった理由として、血清中VA濃度が安定し、飼料摂取量が対照区よりも

低下しなかったこと（図1）が要因として考えられます。

枝肉成績と肉色

供試牛の枝肉成績、肉質及び肉色の結果を表1に示しました。肉質等級、枝肉重量など、いずれの項目においても、カロテン給与による負の影響は見られませんでした。

一方、皮下脂肪色においてカロテン区がb*、彩度で高値を示しました。肉色におけるb*は黄方向の色度を示しており、b*値が高くなると枝肉成績は低く評価される傾向があります。し

かし、肉の色（Beef Color Standard; BCS）、脂肪の色（Beef Fat Standard; BFS）及び、その他の項目において差は見られず、ロースの肉色にも差が見られないため、高含量βカロテン製剤補給により枝肉成績が下がる可能性は低いと考えられます。

以上のことから、高含量βカロテン製剤補給により、枝肉成績に悪影響を及ぼすことなく増体を高められる可能性が示唆されました。近年の飼養管理技術及び育種改良向上等により、上物率が年々増加しています。そのため、攻めたVAコントロールを実施しなくても、ある程度サシが入る可能性があることから、今後は牛に負担がかからない新たなVAコントロールを検討していく必要があります。

図1 供試牛の日増体量（DG）と飼料摂取量

†: カロテン区と対照区の間で傾向差（0.05 ≤ P < 0.1）あり

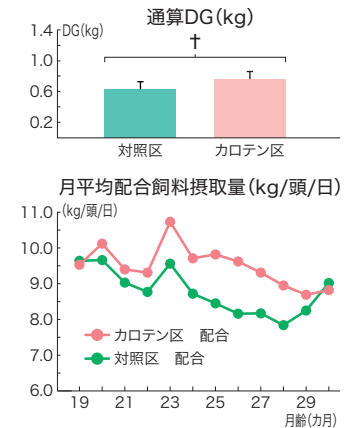
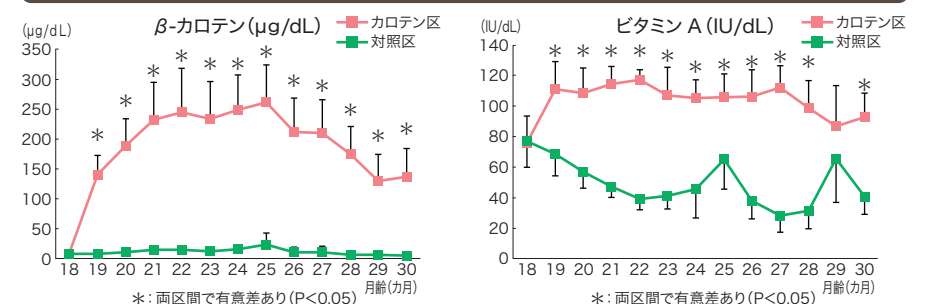


表1 枝肉成績及び肉色の結果

		対照区	カロテン区	SEM	P値
出荷成績	出荷時体重(kg)	811	854	24.34	0.40
	枝肉重量(kg)	529.4	550.3	19.12	0.61
	肉質等級	4.8	4.4	0.22	0.40
	ロース芯面積(cm²)	64.2	68.6	2.90	0.48
	バラ厚(cm)	8.0	8.3	0.27	0.54
	皮下脂肪(cm)	2.7	2.5	0.21	0.59
	BMS No.	8.2	7.6	0.57	0.63
	BCS No.	3.6	3.6	0.16	1.00
	締め	4.8	4.6	0.21	0.67
	BFS	4.8	4.8	0.13	1.00
ロース	L* (明度)	50.5	53.3	0.95	0.15
	a* (赤)	21.0	19.5	0.22	0.40
	b* (黄)	16.8	16.9	19.12	0.61
皮下脂肪	L* (明度)	72.89	72.23	0.76	0.69
	a* (赤)	2.04	2.58	0.37	0.49
	b* (黄)	10.62 ^a	13.57 ^b	0.66	0.01

a,b異符号間有意差あり(p<0.05)

図2 本試験の血清中VAおよびβカロテンの結果





鶏

昆虫の飼料原料としての利用について

日 本国内の食品廃棄物は年間で612万t(東京ドーム約5杯分)を超え、こうした食品廃棄物を餌にして昆虫を育て、飼料化する動きが加速しています。内閣府が主導する開発事業の一環としても、昆虫などの未利用の生物資源をフル活用する研究が既に始まっています。今回は、昆虫を飼料原料として利用する動向について紹介します。 養鶏研究室

昆虫の飼料利用に関する取り組み

昆虫の飼料利用に向けた取り組みや研究は1980年代から始まりました。その後、2013年に国際連合食糧農業機関(FAO)が『食用としての昆虫～食糧と飼料の安全保障に向けた展望～』という報告書を出して以降、世界的にその取り組みに注目が集まりました。

昆虫はタンパク質を豊富に含み(表1)、農作物の端材や食品残渣を餌として成長することなどから、世界規模の食糧危機問題を解決する

一方策として着目されています。飼料化が検討されている昆虫として、代表的なものにはアメリカミズアブ、イエバエ、コオロギ、ミールワーム等があります。

昆虫の飼料原料としての栄養価値

昆虫を鶏に給与した試験は数多く報告されています。ケニアの研究チームによると、7～49日齢のブロイラーに対して大豆油粕と魚粉の一部をアメリカミズアブ粉末に置き換えた飼料を給与したところ、5%の配合であれば、期間中の増体重に悪

影響はなく、むしろ増体重は高まる傾向でした(表2)。また、アメリカの研究によると、同様に51～55週齢の採卵鶏に対して、アメリカミズアブ粉末を0%、8%、16%、もしくは24%含んだ飼料を給与したところ、16%までの配合であれば産卵成績に悪影響をおよぼさないことが示されました(表3)。

その他の類似の研究も加味すると、総じて養鶏用飼料として5%程度の配合割合であれば、産卵成績や発育成績に悪影響は認められないと考えられます。

実用化に向けた課題

一方で昆虫の飼育、製品化、輸送等にかかるコストが大きいことから、いまだ魚粉や大豆油粕等の代替になり得ず、年間を通じて安定的な流通を実現し、現実的な供給コストに抑えることが課題といえます。そのためには、社会認識の変容による昆虫飼料のニーズ拡大や生産技術の革新等が必須です。更には昆虫を飼料化する際の全ての工程にかかるエネルギーコストを考慮しても、魚粉や大豆油粕等、既存の飼料原料と比較して環境負荷が同等以下に抑えられるか否か、という踏み込んだ検証も必要です。いずれにしても、私たちが地球と地球上の生物と永く共生するためには、これらのさまざまな選択肢に対して常にニュートラルに向き合い、判断することが求められます。

表1 主な飼料用昆虫の栄養素成分(粉末状:%)

	アメリカミズアブ	イエバエ	コオロギ	ミールワーム	魚粉(参考)
粗タンパク質	57.7	59.9	71.7	57.8	70.7
粗脂肪	11.8	19.6	10.4	25.5	10.0
粗繊維	16.1	7.1	4.6	6.9	0.0
灰分	13.5	7.1	5.4	3.5	18.2

引用:日畜会報92(3),2021,265-278

表2 アメリカミズアブ粉末の給与が7～49日齢のブロイラーの飼養成績に及ぼす影響

期間中の成績	飼料へのアメリカミズアブの配合割合(%)			
	0	5	10	15
期間増体(g/羽)	2900 ^{ab}	3013 ^a	2837 ^b	2868 ^{ab}
飼料要求率	1.80	1.80	1.80	1.70

異なるアルファベット間に有意差あり(P<0.05)

引用:Journal of Economic Entomology, 111(4), 2018, 1966-1973

表3 アメリカミズアブ粉末の給与が51～55週齢の採卵鶏の産卵成績に及ぼす影響

期間中の成績	飼料へのアメリカミズアブの配合割合(%)			
	0	8	16	24
産卵率(%)	84.0 ^a	85.4 ^a	86.0 ^a	77.0 ^b
卵重(g/個)	63.0	61.7	61.7	60.0
産卵量(g/日/羽)	52.9	52.7	53.1	46.2
飼料要求率	1.87	1.84	1.85	2.01

異なるアルファベット間に有意差あり(P<0.05)

引用:Poultry Science Volume 100(8), August 2021, 101272



豚

豚舎の環境にかかわる事例紹介

豚 舎の環境を豚の発育ステージに合わせ、適切に調節するには調査にも時間がかかります。更に、毎日作業をしている豚舎では、その環境に慣れてしまい、問題点に気づかなくなってしまう場合もあります。今回は、当室において経験した、タイパ(時間面)やコスパ(費用面)の点で、簡単に効果的に取り組むことのできる豚舎環境の改善にかかわる事例を2つご紹介します。 養豚研究室

照明設備と年間受胎率

照明の整備や増設によって年間受胎率が改善した農場の事例です(図1)。特に重要となるのが、育成豚と離乳母豚の適切な照度管理です。豚の顔の位置で300ルクス、14～16時間の点灯が必要だといわれています。300ルクスは、一般的に「読書ができる程度の明るさ」といわれていますが、感じ方には個人差があるので、照度計を用いたストールごとの照度確認が推奨されます。

照度が不足していた場合は、照

図1 照明整備(令和2年度末実施)による年間平均受胎率の変化

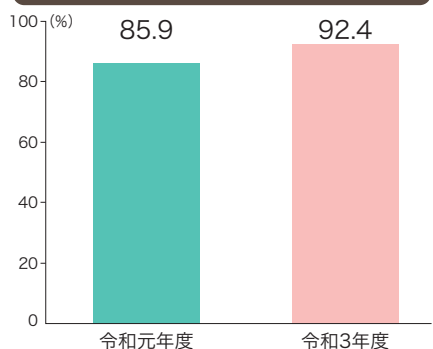


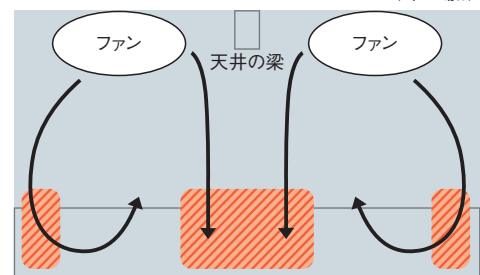
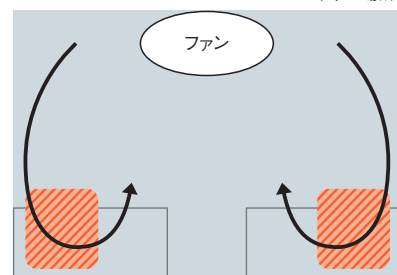
図2 豚舎内の風の動き

横方向の断面図

風が強くなりやすい場所

縦方向の断面図

風が強くなりやすい場所



明の清掃が効果的です。それでも照度が不足する場合は、市販されている照明器具を購入してください。その際、LED照明の増設がおすすめです。開放豚舎では外から光が入ってくるため、照度が足りているイメージがありますが、カテーテルで種付けする時などに手元が暗いと感じる日もあり、LED照明の整備によって改善された例もありました。

環境調査を何から手を付けるか

毎日行える簡単な環境調査として、「気温(舎内温度)」と「風の流れ」の調査が挙げられます。

最低及び、最高温度は豚の発育に大きく影響します。また、強すぎる風は特に若齢子豚に対してストレスとなり、発育成績を悪化させる可能性があります。まず、風の流れを目で見るようにして、ご家族や従業員と一緒に確認します。これには、ガス

写真1 発煙管から出る煙



テック社製の発煙管が広く使用されています(写真1)。

ある豚舎での、風の流れ調査の結果を示しました(図2)。この事例では、複数人で豚舎に入り、発煙管から煙を発生させました。煙の動きを見ることで、風の流れが分かります。その流れをノートなどに矢印で写し取り、記録します。農場のスタッフと一緒に煙の動きを見ることで、次の改善に向けたステップに進みやすくなります。

例えば、「この豚房は発育が悪い、豚への風の当たりが強い場所があるのかも(図2・赤枠)」 「この場所だけ風の動きが違うので、隙間風の可能性がある。補修しよう」 「この豚房は空気が動かないので換気が悪い」など、解決のための糸口を効果的に見つけることができます。詳細を知りたい方は、過去「ちくさんクラブ21」に掲載された当室の記事(資料1)をご覧ください。

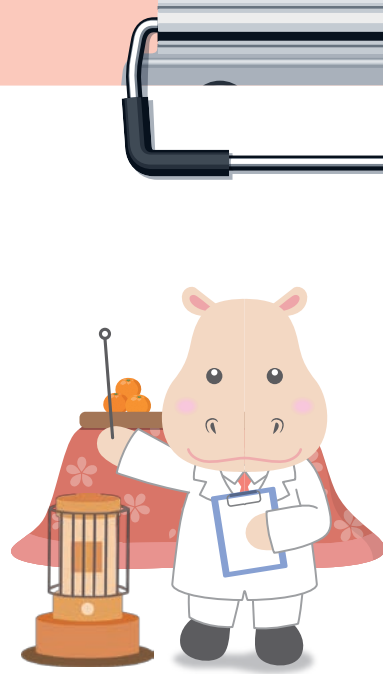
資料1 見ていただきたいちくさんクラブ記事

照明管理
2020.8月号



豚舎の環境改善
2022.6月号





養豚における衛生検査の重要性

季節変化等で豚にストレスがかかると、免疫力が低下して疾病が流行することがあります。今回は検査を活用して疾病の被害を迅速に抑えることができた事例を紹介します。

1 初動で適切に対処するための検査

疾病による被害を防ぐため、普段から適切な管理に努めていても、気温・湿度の変化、空調等の故障、餌切れなど、豚に大きなストレスがかか

ると、免疫力が低下して疾病の流行につながります。疾病の原因の見極めを誤ると、対応が後手となり、豚群全体に波及して大きな被害が

出ることもあります。適切に対処するには、初動で検査を行い、戦うべき病原体を明確にすることが重要です。

2 原因を明らかにし早期に疾病を収束

当該農場は、毎年1～2回の定期的なクリニック検査を実施しています。8月に実施したクリニック検査では、子豚からPCV2が検出されたものの、その時点では事故頭数の増

加はなく、PCV2ワクチンも接種していたため、経過観察としていました。しかし、10月に子豚を販売していた肥育農場から、当該農場産の子豚で豚サーコウイルス関連疾病(PC

VAD)と思われる事故が増加しているとの報告があったため、ワクチン接種日齢を2週齢から4週齢以降に変更しました(表2)。その後、肥育農場での事故は減少しましたが、11月以降、今度は当該農場にて子豚の肺炎が多発し、子豚の育成率が大幅に低下しました(表1)。直近でPCVADに関連したトラブルが起きていたこと、PRRS予防のため母豚にPRRSワクチンを接種した直後であったことから、農場では今回の「育成率低下＝子豚事故率増加」は、PCV2早期感染の影響と考え、子豚用PCV2ワクチンの接種時期を現状の4週齢から2週齢に戻すことを検討していました。

しかし、状況確認のため12月に農場に立ち入りしたところ、発育不良(いわゆる“ヒネ豚”)は見られるものの、呼吸促進や結膜炎など、PRRSを疑う臨床症状が多く見られた一方

で、解剖豚ではPCVADで特徴的な肺の病変や、そけいリンパ節の腫大などの症状が認められませんでした。

これらの所見から、PCVADよりもPRRSウイルスによるウイルス性肺炎

が疑われました。ただし、PCV2とPRRSウイルスは免疫力を低下させ、さまざまな疾病と複合感染を起こすため、臨床所見だけでは判断がつかない場合もあります(表3)。そこで、

今回の子豚事故の増加に関与している病原体を明確にするため、血液及び解剖した豚の臓器を用いてクリニック検査を実施しました。

表3. 豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)と豚サーコウイルス関連疾病(PCVAD)について

豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)	豚サーコウイルス関連疾病(PCVAD)
PRRSウイルスを原因とし、母豚では流産、早産などの症状を起こす。子豚では主に呼吸器症状(くしゃみ、呼吸促進、発咳等)を引き起こす。予防にはワクチンが用いられる。	豚サーコウイルス2型(PCV2)を原因とし、離乳後多臓器発育不良症候群(PMWS)や豚皮膚炎腎症症候群(PDNS)を引き起こす。PMWSは腹式呼吸、発育不全、被毛粗剛、貧血、黄疸などを主症状とする。予防にはワクチンが用いられる。
上記2つの疾病はどちらも免疫力の低下を引き起こし、さまざまな病原体との混合感染が起こり重篤化しやすくなる。見た目だけではPRRSウイルスとPCV2どちらに感染しているかははっきりしない場合もあるため、確定診断にはPCR検査や病理組織検査が必要となる。	

3 検査結果に合わせて適切な消毒を実施

検査の結果(表4)、子豚の血液からPRRSウイルスが検出され、肺からもPRRSウイルスと各種肺炎原因菌が検出されました。一方で、肺や血液からPCV2は検出されませんでした。これらの結果から、今回子豚で事故が増加したのは、PRRSとそれにとまう二次感染の細菌が原因であると考えられました。

そこで、消毒の強化(ヨード系消毒薬を用いた空間消毒+消毒薬噴霧による湿度の確保)、二次感染防止のため人工乳前後期に抗生

物質添加、気温を見ながらの換気実施など、PRRSとそれにとまう二次感染の病原菌をターゲットに対策を集中しました。PCV2対策に関してはワクチン接種時期を含め、変更しませんでした。

対策の結果、表1のように育成率は急速に改善しました。検査によって戦うべき病原体をはっきりさせたことによって、被害を最小限に抑えることができたと考えられます。

表4. クリニック検査結果(12月実施)

病原微生物名	30日齢血液(ブール)	60日齢血液(ブール)	肺
サーコウイルス2型(PCV2)	—	—	—
PRRSウイルス	+	+	+
PRRS型別	野外株	野外株	
パスツレラ・ムルトシダ			+
ヘモフィルス・パライス(グレーサー病)			+
マイコプラズマ・ハイオニューモニエ			+

4 まとめ

今回紹介した事例のように、PCVADとPRRSはどちらも免疫力の低下を引き起こし、さまざまな病原体と混合感染を起こすため、見た目では判断できないことが多い疾病です。当該農場では、毎年定期的に検査も行っており、農場に存在する

病原体を把握していたことも迅速な対応につながりました。

検査には費用がかかりますが、適切な検査とデータの積み重ねは検査費用以上のコストメリットをもたらしてくれます。さまざまな資材が高騰する中で、ワクチンや抗生物質の

費用も上昇しつつあります。検査を通して確実に効果がある衛生資材、対策を選定することが経費の節減にもつながりますので、検査の活用をぜひ一度ご検討ください。

概要	規模:九州管内の母豚100頭規模の子豚生産農場 ケース:豚サーコウイルス2型(PCV2)、豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)ウイルス陽性農場での対応事例
----	---

表1. 当該農場の子豚育成率の推移

子豚育成率				
10月	11月	12月	1月	2月
97.8%	59.6%	54.3%	92.9%	122.2%

※2月育成率が100%超なのは計算・集計期間の都合による
※子豚育成率＝子豚出荷頭数/離乳頭数

表2. 疾病発生～収束までの推移

疾病発生～収束までの時系列	
8月	・定期検査を実施 出荷前の子豚血液からPCV2を検出
10月	・肥育農場に販売した子豚でPCV2が原因と思われる肉豚事故が発生 ・事故の報告を受け、PCV2ワクチン接種のタイミング変更(2週齢⇒4週齢以降)
11月	・子豚で肺炎が流行 事故の増加により子豚育成率低下 ・PRRSウイルス生ワクチンを母豚全頭に接種(定期接種)
12月	・農場巡回、スポット検査実施 PRRSウイルス(野外株)を検出 検査結果を受けた対策の提案を実施
1月	・子豚育成率が急速に改善、その後も順調に推移

元気に育った牛から作る、飲みやすい牛乳

牧場発のモッツアレラチーズが人気



ファンを着実に増やしているミルクファームすぎやまのチーズ

京都府有数の酪農地帯、京丹波町にある株式会社ミルクファームすぎやまは、ストレスを与えない飼育環境で育った乳牛から飲みやすい牛乳を生産し、更に、搾りたての生乳を使って独特の食感があり風味の良いモッツアレラチーズを作り販売している。生産・加工・販売と6次産業化を進め、京都産牛乳の素晴らしさをアピールし、酪農業発展への道を切り開いている。

〆牛ファーストで飼育

「京都農協牛乳」として販売

京丹波町は、京都府の中央部に位置する。丹波高原の山々に囲まれた台地にミルクファームすぎやまの牧場があり、兄で代表取締役社長の杉山裕亮さん（42）と妹で取締役の杉山牧さん（40）、母で取締役の杉山啓子さん（68）が経営する。

経営規模は経産牛122頭、未

経産牛（預託中の育成牛を含む）51頭、哺育牛15頭で、JA京都管内でも規模は大きい。生乳出荷量は年間1300t。牛舎は、フリーストールで乳牛にストレスを与えないように考えられた牛舎構造。搾乳はミルクングパーラー（パレルパーラー）と24時間対応の自動搾乳ロボットの2方式を取り入れている。餌やり、牛糞の掃除も自動化し、省力化を進めたおかげで、裕亮さんのほか、スタッフ2人の少人数での管理が可能となっている。

フリーストール牛舎は1992年に導入。自動搾乳ロボットは府内でも



代表取締役社長 杉山裕亮さん

早く2005年に導入した。「牛によつて搾乳方法に好みがあるので、牛舎を分けて2つの方式を使っている。乳牛の状態は搾乳時にセンサーで乳量や乳質の成分変化を判断。データを分析することで1頭1頭の状態を把握し、対応している」と裕亮さんは独自の飼育方法の利点を強調する。

餌は稲発酵粗飼料（WCS）や、先代がグループで考案された指定配合、輸入乾牧草を与えている。生乳はJA全農京都が集乳し、雪印メグミルクに出荷。「京都農協牛乳」などのブランドで販売している。

糞は牛の足元を移動するスクレパーで集め、さらにバークリーナーで集積場に運ぶ。堆肥化は農事組合法人「丹波ユキキ」が行う。丹波ユキキは2011年から耕作放棄地を借り受けて飼料用米を作付けている。同ファームも利用し、WCSとしている。牧場で生まれた子牛は6カ月間、

飼育した後、JA京都・JA全農京都を通じて北海道の牧場に預託する。人工授精を行い、妊娠した状態で戻ってくる。JA京都は「酪農家は、育成の時間が軽減され搾乳に集中できる」と預託のメリットを強調する。裕亮さんは「夏は放牧し、歩き回るので足腰が強くなり丈夫に育つ。牛舎でストレスを抱えずに過ごすので飲みやすい牛乳になる」と話す。

本場イタリアのチーズに感動「おいしさ」で人気商品に

ミルクファームすぎやまの名声を高めているのが、牧さんが作るモッツアレラチーズだ。地元の府立須知高校食品科学科で乳製品の加工技術を学んだ後、北海道ニセコ町にある高橋牧場ミルク工房で2年間、アイスクリームの製造・販売に従事。その後、同新得町の共働学舎新得農場、同幕別町のチーズ工房NEEDSで合わせて10年間、ナチュラルチーズの製造に携わった。2013年に帰郷し、父の明さんの後押しで牧場の倉庫を改造して工房を作り、翌年にチーズづくりと販売がスタートした。

牧場発のチーズは京都では初の取り組み。牧さんの努力に加え、実現できたのは、父の明さんが、常々「酪



1



2

- ① ミルクファームすぎやまの皆さん
② 2005年に導入した自動搾乳ロボット



⑤ 牛ファーストな経営を実現するため、JA西日本くみあい飼料(左)、JA京都(中央)の担当者と定期的に情報交換をする裕亮さん



⑥ 先代がグループで考案された指定配合

⑦ スクレッパーで牛糞を集め、清潔に保たれている牛舎



7

した牧場と「酪農団地」を形成している。

父の明さんは、高校卒業後、3年間北海道の牧場で研修し、21歳の時に戻った。1987年に祖父がリタイヤした後、「杉山牧場」の後を継ぎ、妻の啓子さんと経営を発展させた。裕亮さんは当初、牧場を継ぐ気はなかったが、2006年に就農した。「酪農は分からないことだらけ。ひとつひとつの仕事覚えるのに必死だった」と当時を振り返る。父と働く中で学んだことは、「牛に過大な負荷をかけない」「牛舎に乳牛を入れない」など「牛ファースト」な管理方法。牧場の将来と発展を考え、2014年に「株式会社ミルクファームすぎやま」と法人化し、家計と経営を分離して経営基盤を強化した。2018年秋、父の明さんが他界し(享年66)、裕亮さんは代表取締役となった。

牧場の面積は約6ha。自宅や牛舎、バルクローラー、乾乳舎、チーズ工房、乾牧草倉庫などが間隔をおいて並んでいる。場内は整理・整頓され、草刈りもされていて見通しが良い。そんな畜産環境が評価され、JA京都の2021年度優良生産者表彰で環境美化部門の最優秀賞を受賞し



ミルクファームすぎやまの全景

た。「牧場を訪れた人が牛乳を飲みたいと思うような環境づくりも必要だ」と裕亮さん。環境に優しい酪農経営のため再生可能エネルギーとして、牛舎の屋根に太陽光発電装置を設置し、電力会社に電気の販売もしている。

「株式会社ミルクファームすぎやま」と「チーズ工房」は来年で10年を迎える。節目となる年を前に、JA京都酪農部会青年部長を務める裕亮さんは「京都の酪農を守りたい。だからこそ少しずつでも規模は拡大したい。今ある施設をフルに活用し、少しずつ飼養頭数や乳量を増やしていきたい」と夢を語る。



農を後継者が育つ憧れの職業にする」という考えを持ち、生産面で新しい取り組みを進めてきたためだ。チーズづくりはその取り組みの第2段で、牛乳を生産するだけでなく、加工品の生産・販売を通して消費拡大を図る6次産業化に活路を見ていた。JA京都や地域の酪農家が応援する中でスタートしたミルクファームすぎやまのチーズづくりは順調に発展し、地域の酪農に希望を与える存在となった。そして、今では京丹波町のふるさと納税返礼品としても人気を集めるまでになった。



【取材協力店】
道の駅「京丹波 味夢の里」
京都府船井郡京丹波町
曾根深シノ65番地1
TEL.0771-89-2310

- ① 道の駅「京丹波 味夢の里」で出来たてのモッツアレラチーズを手にする観光客
- ② ファンの多いモッツアレラチーズ、さけるチーズ、のむヨーグルト

2

「弾力のある歯応え、牛乳の風味が素晴らしく、原料乳の良さを最大限に引き出していた。実家は牧場を経営している。新鮮な生乳を使ってモッツアレラチーズをつくり、作り立てを皆に食べてもらいたいと思った」と話す。1日に使う生乳は100ℓ。そこからチーズが10kgできる。モッツアレラチーズの他、カチョカバロ、さけるチーズ、のむヨーグルトも製造し販売している。モッツアレラチーズのおいしさが伝わるにつれ販路は拡大。現在は、道の駅や東京の食料品店で販売するほか、京都や大阪のホテルのレストランなどに納品している。京都縦貫自動車道京丹波パーキングエリアに併設する、道の駅「京丹波 味夢の里」の乳製品コーナーでは、「出来たて」を強調したモッツアレラチーズやカチョカバロなどが並び、牧さんが品出しするそばから売れていく。東京から来た観光客は「出来たてのモッツアレラチーズは珍しい。旅行中なので持ち帰りは難しいので、今夜、ホテルで食べます」と買い求めている。

道の駅の野間孝史支配人は「牧さんの作るモッツアレラチーズなどフレッシュチーズは道の駅の目玉商品。チーズ購入を目的に訪れる人も多い」と評価している。牧さんは「実家が酪



3



③ ミルクファームすぎやまでチーズづくりに励む杉山牧さん

④ 牧さんが技術を発揮するチーズ工房

4

農家だから新鮮な生乳を使ってチーズ作りができる。誇りに思っています。更に技術を磨いていきたい」と意欲的だ。

「京都の酪農守りたい」
環境美化部門で最優秀賞

ミルクファームすぎやまは、戦後開拓で入植した祖父が1958年頃政府の貸付制度を利用して乳牛を導入したのが始まり。同じ頃に誕生

「ヨロイ」落としの厳格化について

令和3年6月より「HACCPに基づく衛生管理」が制度化され、東京食肉市場においても施行されてから1年以上経過しました。一方で、現在も「ヨロイ」や「汚れ」が著しく付着した牛生体が散見され、東京都中央卸売市場食肉市場及び、東京都芝浦食肉衛生検査所より厳しく改善指導が寄せられています。

上記を踏まえ、**生体搬入時に「ヨロイ」が体表に付着したものについて以下のとおり荷受不可**となりますので、「ヨロイ」の完全除去を実施の上、出荷するようご留意ください。

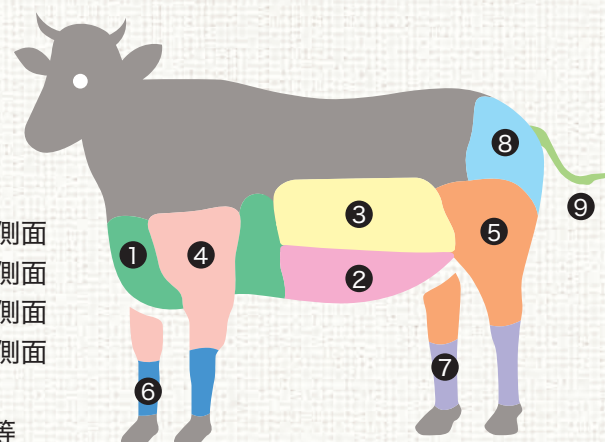
実施内容 以下の「ヨロイ」基準にもとづき荷受不可

- (1) Aランク(対象部位①～⑨の3カ所以上で「ヨロイ」が確認できるもの)：令和4年11月1日より
- (2) Bランク(対象部位①～⑨の2カ所で「ヨロイ」が確認できるもの)：令和5年4月1日より
- (3) Cランク(対象部位①～⑨の1カ所で「ヨロイ」が確認できるもの)：令和5年4月1日より

※ヨロイ：体表に長期的に付着した糞便が固まり、丸状・板状等になり固まったもの。
※汚れ：短期的に付着した糞便・オガ等。流水・ブラッシング等で簡単に落とすことができる。

【対象部位】

- ①前胸から胸底
- ②腹底
- ③肋側面
- ④上脛 表裏・側面
- ⑤下脛 表裏・側面
- ⑥前肢 表裏・側面
- ⑦後肢 表裏・側面
- ⑧肛門周囲
- ⑨尾杖から尾房等



東京食肉市場株式会社 令和4年9月パンフレットから引用

■「ザ・ヨロイ落とし」の使用事例



- ①ザ・ヨロイ落としを塗布した場合
- ②ザ・ヨロイ落としを塗布しない場合

※今回検証動画では、「ザ・ヨロイ落とし」の効果がハッキリと分かるように、黒毛和種ではなくホルスタイン種を活用しています。

専用洗浄資材

家畜用中性洗剤

「ザ・ヨロイ落とし」のご紹介

荷姿

- 500gスプレーボトル×6本
- 2kgボトル×6本
- 18kgQBテナー



《製品特性》

- ①頑固にこびり付いたヨロイの中に浸み込み、ヨロイが柔らかくなるので、洗浄の労力を抑えることができます。
- ②安全にヨロイを落とすことができ、洗浄時間も短縮できることから、牛へのストレスを大幅に軽減できます。



株式会社 科学飼料研究所

<http://www.kashiken.co.jp/>

動薬部 TEL:027-347-3223
FAX:027-347-4577
札幌事業所 TEL:011-214-3656
東北事業所 TEL:019-637-6050

関東事業所 TEL:027-346-9091
北九州事業所 TEL:096-294-8322
南九州事業所 TEL:099-482-3044

「全農酪農セミナー2022」開催のご案内

2023年1月開催
参加費無料

2023年1月6日～31日にかけて、「全農酪農セミナー2022」を開催します。今回は、バージニア工科大学名誉教授ロバート・ジェイムス氏を講師に迎え、「効率的な後継牛の育成と牛群管理」をテーマに講義を行います。

効率的な後継牛の育成と牛群管理 ～酪農の現在とこれからの未来のために～

資材・飼料高の状況で、これまで以上に生産効率を高めることが求められます。後継牛育成を中心に、いかに“農場全体の収益性”を高めていくか紹介します。



開催方法 オンライン配信(JACCネット)

申し込み期間 セミナー終了日まで

視聴期間 2023年1月6日～31日
※期間中繰り返し視聴可能

講師 ロバート・ジェイムス氏

酪農コンサルタント
Down Home Heifer Solutions, LLC

バージニア工科大学 酪農学部 名誉教授

バージニア州ブラックスバーグ



セミナー参加方法

下記のQRコード、またはURLからアクセスいただき、受講をお申し込みください。お申し込み後、セミナー事務局より、メールにて「全農酪農セミナー2022」のご視聴用のアドレスを送付いたします。そちらのアドレスにアクセスの上、ご視聴ください。

また、本セミナーは期間中繰り返し視聴することができます。

●参加申し込みフォーム

<https://jaccnet.zennoh.or.jp/dairy-seminar/>
ユーザー名：dairy-seminar パスワード：zennoh2022



アンケートのお願い

ご視聴後、アンケートの回答をお願い致します。また、セミナー内容に関するご質問等がございましたらアンケートにご記入ください。後日、最寄りの担当者から回答させていただきます。

※アクセスが集中しますとホームページに繋がりにくくなる場合がございます。その場合は、しばらく経ってから再度アクセスしてください。

※ご利用のインターネット回線の状況やサーバー負荷、ご利用者のPCまたは端末の環境により映像が途切れる、又は停止するなど正常に視聴できない事があります。

※通信にかかる費用はご利用者さまのご負担となります。

第6回和牛甲子園に向けた 高校牛児たちの熱い前哨戦!!

今年度で第6回目を迎える和牛甲子園。ここでは、2023年1月19、20日に開催される和牛甲子園の概要と、大会に先駆けて11月16日に開催された研修会「和牛アカデミー」の様子を紹介します。

開催日時
2023年1月19日(木)13:00~18:00
1月20日(金) 8:00~15:30

開催場所
(1)体験発表会等
品川グランドホール(THE GRAND HALL)
(2)枝肉共励会
東京都中央卸売市場食肉市場
(東京・品川)

出場校数
23道府県40校 出品頭数56頭

公式HPは
こちら!

和牛甲子園



第6回和牛甲子園



第5回和牛甲子園優勝旗返還の様子

大会概要

JA全農は2023年1月19、20日に、第6回和牛甲子園を実参加とオンライン参加の参加併用形式で開催する予定です。和牛甲子園は、①将来の担い手候補である高校生の就農意欲の向上、②日本各地で同じ志を持つ高校生同士のネットワークを創出し意欲と技術の向上を図ることを主たる目的としています。新型コロナウイルス感染症感染拡大にともない、第3回大会を最後に実開催は見送られてきましたが、3大会ぶりに実参加を含めた開催となります。

和牛甲子園は、日頃の取り組みを評価する「取組評価部門(体験発表会)」と、出品牛枝肉の肉質を評価する「枝肉評価部門(枝肉

共励会)」の2部門があり、それぞれ最優秀賞、優秀賞、優良賞を決定するとともに、2部門を総合的に評価する「総合評価部門」として最優秀賞を決定します。そのほかに審査委員選出による審査委員特別賞、出場校の投票によって選出する高校牛児特別賞があります。

体験発表会は前回大会に引き続き、事前に動画を事務局に送付。審査委員は①どのようなことにチャレンジ・挑戦し、どのように問題解決したか、②発表資料は分かりやすいか、③話し方は明瞭簡潔で分かりやすく、チームワークが発揮されているか、④高校生らしい創意工夫や独自性がある取り組み内容か、等

各校の動画は和牛甲子園のホームページ上に公開予定です。7分の動画に込められた高校牛児たちの熱い思いを皆さまもぜひご覧ください。

枝肉共励会は、大会2日目の20日の午前中に東京中央卸売市場食肉市場で開催され、参加牛は全てセリにて販売。午後に審査発表及び入賞牛6頭の審査講評が行われ、その模様は後日動画配信します。

また、各校が出品した枝肉は、枝肉共励会の前に予定されている枝肉勉強会にて、各校ごとに解説講義と質疑応答を実施します。



和牛アカデミー事務局のJA全農 畜産総合対策部 販売畜産課の担当者

高校牛児は出品牛の枝肉を検品することで日頃の成果・課題を確認することができます。

出場校にとって、他の学校はどんな学校なのか、全国にどんな仲間がいるのかはとても気になる。和牛甲子園では、出場校同士の交流を目的に、各校に30秒のPR動画を作成していただき、和牛甲子園のHP上で随時公開、大会当日の休憩時間等でも放映予定です。各校が趣向を凝らして作成したPR動画は、思わず笑みがこぼれ、

元気をもらえる動画ばかりです。また、購買者に向けたメッセージとして、10秒の動画も作成しています。大会当日、東京食肉市場で放映予定です。

出場校は、新規参加校5校を含む23道府県40校、出品頭数は56頭を予定しており、前大会の19県35校50頭を超え、今年も参加校数が過去最多を更新いたしました。大会の模様は後日、YouTubeで配信しますので、高校牛児たちの熱い戦いをぜひご覧ください。

和牛アカデミーの開催

2022年11月16日に、第6回和牛甲子園出場校を対象とした研修会「和牛アカデミー」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで開催され、当日は17校の先生が参加しました。

始めに、主催者を代表してJA全農畜産総合対策部畜産販売課の上田課長より挨拶があり、和牛甲子園に参加いただく高校への御礼

と、事務局としての和牛アカデミーへの意気込みが伝えられました。

続いて、事務局より第6回大会の概要説明を行いました。今大会では実参加する学校と学校から会場にリモートで参加する学校の、参加併用形式の開催となることを確認しました。

和牛アカデミーはオンラインでの開催となりましたが、和牛甲子園に向けて活発な質問が交わされ、参加者の意気込みが伝わる、貴重な情報交換の場となりました。

第6回和牛甲子園出場校(23道府県40校56頭)

No.	出場校		出場頭数			出場回数	(参考)第5回和牛甲子園の結果
			去勢	雌	計		
1	北海道	倶知安農業高等学校	1	—	1	初	
2		酪農学園大学附属とわの森二愛高等学校	—	—	—	初	
3	青森県	三本木農業高等学校・三本木農業恵拓高等学校	—	2	2	3	
4		水沢農業高等学校	1	—	1	6	
5	岩手県	盛岡農業高等学校	2	—	2	3	
6		花巻農業高等学校	—	—	—	2	
7	宮城県	農業高等学校	1	—	1	2	■高校牛児特別賞
8	福島県	会津農林高等学校	—	2	2	4	■優良賞
9		磐城農業高等学校	—	1	1	3	
10	茨城県	水戸農業高等学校	—	—	—	初	
11	栃木県	宇都宮白楊高等学校	1	1	2	6	■審査委員特別賞
12		鹿沼南高等学校	1	—	1	6	
13		栃木農業高等学校	1	1	2	6	■優良賞
14		那須拓陽高等学校	1	—	1	6	■優良賞
15		真岡北陵高等学校	1	1	2	5	
16		矢板高等学校	2	—	2	6	
17	群馬県	利根実業高等学校	2	—	2	4	
18		吾妻中央高等学校	—	—	—	初	
19	神奈川県	中央農業高等学校	—	1	1	4	
20	富山県	中央農業高等学校	1	—	1	6	
21	岐阜県	大垣養老高等学校	1	1	2	5	■優秀賞
22		加茂農林高等学校	1	1	2	6	
23		飛騨高山高等学校	—	2	2	6	
24	愛知県	渥美農業高等学校	—	2	2	4	■最優秀賞 ■優秀賞 ■優秀賞
25	滋賀県	長浜農業高等学校	2	—	2	5	
26	京都府	農芸高等学校	1	—	1	初	
27	島根県	出雲農林高等学校	1	—	1	6	
28	岡山県	瀬戸南高等学校	1	—	1	4	
29	広島県	西条農業高等学校	2	—	2	4	■最優秀賞
30	山口県	大津緑洋高等学校	—	1	1	3	
31	佐賀県	唐津南高等学校	1	—	1	6	
32	長崎県	諫早農業高等学校	1	—	1	3	
33	熊本県	南陵高等学校	2	—	2	4	
34	宮崎県	高鍋農業高等学校	2	—	2	2	
35		都城農業高等学校	1	—	1	2	
36		市来農芸高等学校	2	—	2	5	■優秀賞
37	鹿児島県	鶴翔高等学校	—	2	2	6	■優良賞
38		鹿屋農業高等学校	2	—	2	6	■優良賞 ■優良賞
39		曾於高等学校	2	—	2	5	■最優秀賞
40		加世田常潤高等学校	1	—	1	4	

※第3回大会より、次年度の和牛甲子園に出場予定の高校については、和牛肥育体験発表会のみ出場も可能としています。



和牛アカデミーの
オンラインセミナー
画面

台湾に日本産鶏卵を輸出 7月から時限的解禁

2022年7月から23年3月末まで、日本からの鶏卵輸入を時限的に解禁した台湾。台湾の鶏卵不足解消の一助となるべく、日本産鶏卵の輸入販売に取り組む台湾全農インターナショナル(株)の活動について紹介します。

台湾における 鶏卵の消費と需給

卵は広く台湾の食生活に浸透しており、年間1人あたりの鶏卵消費量は20.4kg(2021年)と、日本(17.2kg)を上回る数量となっています(図1)。長期的な統計データを見ると、戦後に消費量が伸びてきたことから食生活の多様化により、消費が増えてきた食品の1つといえます。

一方、供給面は、増える消費を生産の増加によってまかなっており、ほとんどが台湾で自給されています。しかし、22年に入り、特例的に日本から鶏卵の輸入を許可する

ほど、供給が不足する事態となりました。

鶏卵の供給不足と 日本からの輸入解禁

22年の1~2月頃、台湾では春節(旧正月)を祝う特別な時期に

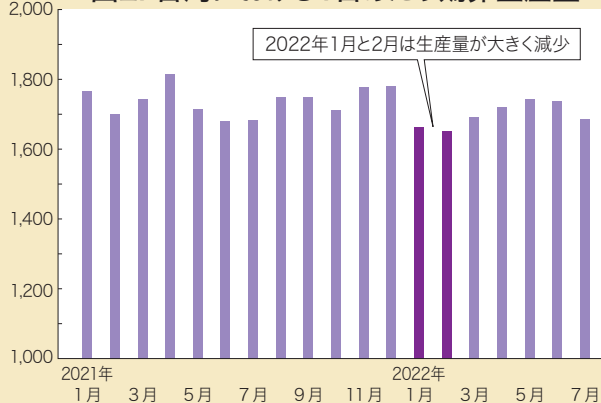


卵が売り切れたスーパー(2022年2月)

もかわらず、鶏卵が不足する状況が発生しました。

台湾における鶏卵生産量のデータを見ると、22年1~2月に生産量が減少していることが見てとれます(図2)。原因としては、寒波による採卵鶏のへい死及び産卵率の低下、飼料価格高騰による鶏卵生産の抑制、高病原性鳥インフルエンザの発生による殺処分等とされています。台湾政府の発表では気温の低

図2. 台湾における1日あたり鶏卵生産量



(出典) 中華民国養鶏協会資料
(注) 元データの単位は箱だが、1箱14.4kgとして重量換算した。

図1. 台湾における鶏卵需給状況

	生産量 (t)	輸入量 (t)	輸出量 (t)	供給量 (t)	1人あたり 供給量 (kg/年)	人口 (万人)	1人あたり 供給量 (kg/年)
1960	—	—	—	—	1.6	1,079	6.3
1970	—	—	—	—	4.1	1,475	14.5
1980	—	—	—	—	8.0	1,787	14.3
1990	224,010	0	0	224,010	12.1	2,040	16.1
1995	317,699	0	0	317,699	16.2	2,136	17.2
2000	403,891	0	0	403,891	19.2	2,228	17.0
2005	358,494	0	0	358,494	16.8	2,277	16.6
2010	373,168	0	0	373,168	17.2	2,316	16.5
2015	386,050	37	14	386,073	17.3	2,349	16.9
2020	453,171	999	13	454,157	20.0	2,356	17.2
2021	461,669	483	1	462,151	20.4	2,338	17.2

(出典) 台湾行政院農業委員会「糧食平衡表」、日本農林水産省「食料需給表」
(注) 1人あたり供給量は、卵殻等を除く純食料ベース。台湾の1人あたり供給量は、あひろの卵等を含む「卵類」の数字。

下が主な理由とされていましたが、冬でも比較的气温の高い台湾にあって、高病原性鳥インフルエンザの影響が大きいとする声もありました。台湾政府はこの状況を受け、22年2月10日、米国、豪州、日本からの卵の輸入を許可しました。

これまでは、日本で鳥インフルエンザが発生すると日本全土からの輸入が禁止されてきましたが、22年の解禁では、鳥インフルエンザの発生県以外からの輸入が認められました(図3)。

台湾全農インターナショナルでは、限られた時間の中、JAグループのネットワークを活かし、日本産鶏卵の輸入手配を行いました。その結果、10個入りパックを約1万2000パック輸入し、コンビニやデパート等に供給することができました。



コンビニでの販売(2022年4月)

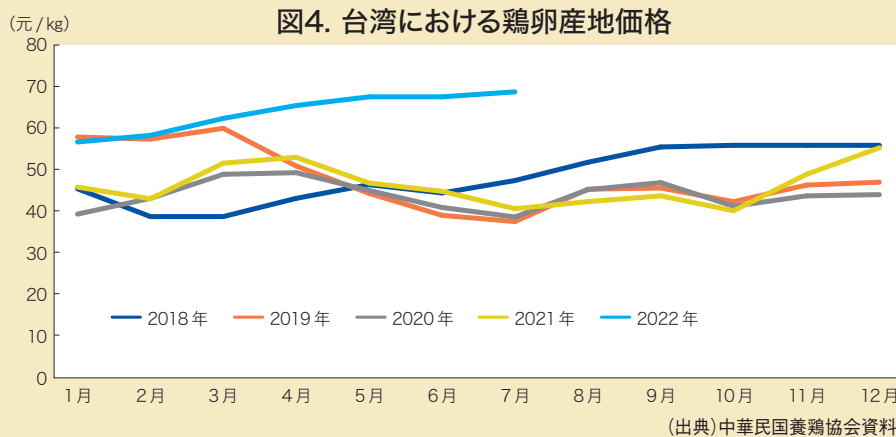


デパートでの販売(2022年4月)



日本産鶏卵を積んだコンテナ(2022年3月)

図4. 台湾における鶏卵産地価格



鶏卵の産地価格の推移を見ると、例年になく高い水準にあり(図4)、鶏卵の供給不足は明らかです。原

日本からの 鶏卵輸入の再解禁

3月末でいったん再禁止となっていた日本産鶏卵の輸入も、7月になると再び解禁されることになりました。

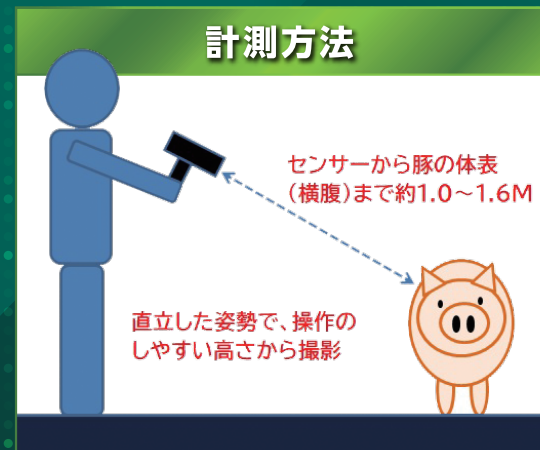
台湾政府としては、消費者が直接購入する小売用の卵は優先して流通させる一方で、業務向けは輸入で補う方針を取りました。2~3月の輸入解禁の際も、当社は日本から小売用のパック卵を輸入したにもかかわらず、引き合いが来るのは業務向けだったという経験があり、それも踏まえ、業務向けの販売を中心に輸出を検討することになりました。

そうした中、農業委員会(日本の農林水産省にあたる台湾の省庁)より、加工業者向けに供給する鶏卵の輸入について打診が入りました。同委員会向けには諸条件が合わず、供給には至りませんでした。同委員会より加工業者をご紹介いただき、取引に向けて商談を進めています。

台湾全農インターナショナルは、台湾の鶏卵不足解消の一助となるよう、日本産鶏卵の供給に取り組んでまいります。

ベテラン並みの目勘に取って代わる 体重推定が可能!! (体重95kg~125kgの範囲で推定が可能)

全農飼料畜産中央研究所で採取したデータを用いて、
定期的に推定式のアップデートをします。



■ 推定式のアップデート方法
付属のUSBメモリを用いて所定の操作を行う
事により簡単にアップデートできます。

■ モニターイメージ

② 体重推定中

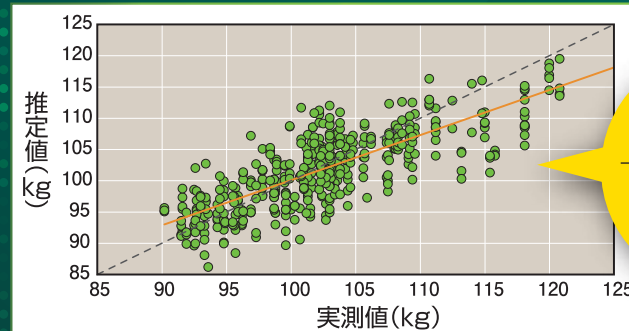


① 撮影時

③ 完了



■ 推定値と実測値の誤差率



さらに!



片方の手でマーキング
をすることも可能!!

豚を体重計にのせる
手間と豚への
ストレスを軽減



グッド👍
(^_^)!

■ 製品仕様

外形サイズ	190mm×60mm×130mm (持ち手部分除く)
重量	900g
バッテリー	充電により繰り返し使用可能 ／撮影現場で簡単に交換可能
付属品	充電電池2本、充電器、USBメモリ
オプション	落下防止ストラップ(別売)

製造元 株式会社ノア

販売元 全農畜産サービス株式会社

住 所: 〒135-0041 東京都江東区冬木11番17号

本社 資材事業部 TEL 03-5245-4871

福岡営業所 TEL 092-715-8787

九州営業所 TEL 0994-82-2521

札幌駐在 TEL 070-4422-8092

-肥育豚体重推定器-

Hapimo P-Scale 〈ハイコープ ver.〉※



片手で操作が
出来る軽量な
GUNタイプ



撮影してから結果が
表示されるまでの
時間は約4秒



簡単計測

低い誤差率

作業効率UP

※ハイコープ豚のデータを元にした専用の推定式を使用しています。



全農畜産サービス株式会社
ZEN-NOH LIVESTOCK CO., LTD.

和牛枝肉共励会・子牛市場情報



和牛枝肉共励会情報

表の見方:①各共励会の受賞牛の上位2位を掲載。②順位がない場合は、単価上位2位を掲載。③平均値は全体成績の平均。

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格(円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	BMS No.	

◎令和4年11月10日(東京食肉市場) 新潟県・令和4年度村上牛枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

諒太郎	幸紀雄	安福久	和	去勢	－	560	－	3,096	A5	92	9.3	12	1,733,760
福之姫	安福久	第1花国	和	去勢	－	497	－	3,070	A5	75	8.5	11	1,525,790
(平均値)					－	(529.5)	－	(2,667)		(71.9)	(8.5)	(8.8)	(1,412,503)

◎令和4年11月10日(東京食肉市場) 福島県・JA東西しらかわ秋季枝肉研究会 (和牛去勢18頭、雌6頭 合計24頭出品)

美津照重	美国桜	勝忠平	和	去勢	－	520	－	2,656	A5	78	7.8	12	1,381,120
久茂福	安茂勝	糸福(鹿児島)	和	雌	－	462	－	2,755	A5	70	7.8	12	1,272,810
(平均値)					－	(505.9)	－	(2,247)		(68.6)	(8.2)	(8.4)	(1,136,189)

◎令和4年11月11日(東京食肉市場) 栃木県・第72回小山農協肉牛枝肉共励会 (和牛去勢36頭、雌4頭 合計40頭出品)

福之姫	安福久	平茂晴	和	去勢	921	619	67.2	3,099	A5	109	9.8	12	1,918,281
花国安福	美国桜	安福久	和	去勢	697	468	67.1	2,785	A5	66	8.4	12	1,303,380
(平均値)					(838.0)	(535.7)	(64.6)	(2,374)		(67.8)	(8.4)	(8.3)	(1,269,791)

◎令和4年11月11日(東京食肉市場) 茨城県・全農茨城県本部常陸牛枝肉研究会 (和牛去勢13頭、雌11頭 合計24頭出品)

福之姫	茂洋	安福久	和	去勢	－	514	－	2,951	A5	74	8.7	12	1,516,814
金太郎3	美国桜	安福久	和	去勢	－	540	－	2,900	A5	80	8.6	11	1,566,000
(平均値)					－	(539.3)	－	(2,378)		(74.8)	(8.7)	(8.4)	(1,279,422)

◎令和4年11月11日(東京食肉市場) 佐賀県・第20回佐賀牛枝肉共励会 (和牛去勢11頭、雌13頭 合計24頭出品)

福之姫	安福久	金幸	和	雌	700	489	69.9	4,005	A5	76	8.3	12	1,958,445
福之姫	安福久	勝忠平	和	去勢	830	568	68.4	3,175	A5	124	8.4	12	1,803,400
(平均値)					(797.1)	(526.3)	(66.0)	(2,621)		(77.8)	(8.5)	(9.5)	(1,381,828)

◎令和4年11月16日(東京食肉市場) 栃木県・「とちぎ和牛」 第7回JAなす南JAしおのや和牛枝肉研究会 (和牛去勢31頭、雌7頭 合計38頭出品)

美国桜	安福久	平茂晴	和	去勢	－	652	－	2,853	A5	91	8.6	12	1,860,156
百合芳	安福久	平茂勝	和	去勢	－	664	－	2,755	A5	90	9.5	11	1,829,320
(平均値)					－	(577.1)	－	(2,317)		(75.7)	(8.3)	(7.4)	(1,342,658)

◎令和4年11月17日(東京食肉市場) 福島県・令和4年度JA夢みなみ古殿地区枝肉研究会 (和牛去勢20頭、雌4頭 合計24頭出品)

久茂福	美国桜	勝忠平	和	去勢	－	598	－	2,702	A5	104	8.4	12	1,615,796
百合白清2	安福久	平茂勝	和	雌	－	505	－	2,653	A5	78	8.2	10	1,339,765
(平均値)					－	(512.3)	－	(2,336)		(71.4)	(8.4)	(8.4)	(1,198,216)

◎令和4年11月17日(東京食肉市場) 栃木県・「とちぎ和牛」令和4年度栃木県・県南地区JA和牛枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

勝早桜5	芳之国	安福久	和	去勢	－	670	－	2,746	A5	109	10.7	12	1,839,820
百合白清2	安福久	平茂勝	和	去勢	－	536	－	2,470	A5	78	9.4	12	1,323,920
(平均値)					－	(553.5)	－	(2,384)		(74.0)	(8.8)	(10.5)	(1,321,893)

◎令和4年11月18日(東京食肉市場) 青森県・令和4年度八戸農協枝肉研究会 (和牛去勢20頭、雌4頭 合計24頭出品)

第1花国	安福久	茂洋	和	去勢	－	467	－	3,012	A5	83	8.4	12	1,406,604
福安照	安福久	第1花国	和	去勢	－	556	－	3,103	A5	76	8.4	11	1,725,268
(平均値)					－	(499.7)	－	(2,459)		(66.2)	(8.2)	(7.3)	(1,228,553)

◎令和4年11月18日(東京食肉市場) 山形県・庄内肉用牛振興協議会主催 第6回「総称山形牛」枝肉研究会 (和牛去勢14頭、雌10頭 合計24頭出品)

諒太郎	美津照重	平忠勝	和	雌	－	461	－	3,054	A5	79	8.7	12	1,407,894
百合白清2	美津照重	勝忠平	和	去勢	880	596	67.7	2,800	A5	66	8.7	12	1,668,800
(平均値)					(787.3)	(512.7)	(66.4)	(2,354)		(70.2)	(8.1)	(7.7)	(1,209,588)

◎令和4年11月22日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度第2回JAいしのまき肉牛部会枝肉共励会 (和牛去勢19頭、雌5頭 合計24頭出品)

茂福久	安福久	糸福	和	去勢	865	571	66.0	2,872	A5	104	9.0	10	1,639,912
茂福久	諒太郎	安福久	和	雌	645	423	65.6	3,019	A5	88	7.9	12	1,277,037
(平均値)					(813.1)	(538.8)	(66.2)	(2,626)		(83.1)	(9.1)	(9.4)	(1,417,313)

◎令和4年11月24日(東京食肉市場) 青森県・JA十和田おいらせ肥育牛部会枝肉研究会 (和牛去勢18頭、雌6頭 合計24頭出品)

若百合	安福久	勝忠平	和	雌	710	462	65.1	3,023	A5	84	7.8	12	1,396,626
美津照重	百合茂	安福久	和	雌	740	485	65.5	2,759	A5	68	8.5	11	1,338,115
(平均値)					(831.7)	(534.3)	(64.2)	(2,269)		(66.5)	(8.4)	(7.5)	(1,210,915)

◎令和4年11月24日(東京食肉市場) 岩手県・第7回花巻農協肥育部会枝肉研究会 (和牛去勢17頭、雌7頭 合計24頭出品)

愛之国	美津照重	－	和	去勢	820	559	68.2	3,018	A5	83	8.7	12	1,687,062
百合白清2	安福久	－	和	去勢	925	604	65.3	3,000	A5	96	8.0	12	1,812,000
(平均値)					(826.3)	(533.8)	(64.6)	(2,451)		(74.4)	(8.2)	(8.3)	(1,310,033)

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格(円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	BMS No.	

◎令和4年11月24日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度第2回JAみやぎ登米肉牛部会迫支部「仙台牛」枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

平白鵬	安福久	百合茂	和	去勢	850	553	65.1	3,002	A5	65	9.1	12	1,660,106
茂福久	金太郎3	茂洋	和	去勢	940	597	63.5	2,861	A5	98	9.4	12	1,708,017
(平均値)					(821.3)	(539.5)	(65.7)	(2,546)		(73.6)	(8.7)	(9.9)	(1,377,566)

◎令和4年11月24日(東京食肉市場) 栃木県・第39回栃木県肉用牛総合共進会肥育牛の部交雑種 (F1去勢20頭出品)

勝美系	－	－	F1	去勢	－	679	－	2,100	A5	78	8.4	9	1,425,900
秋忠平	－	－	F1	去勢	－	645	－	1,885	B4	86	8.2	7	1,215,825
(平均値)					－	(652.6)	－	(1,562)		(64.2)	(8.3)	(4.6)	(1,019,239)

◎令和4年11月25日(東京食肉市場) 福島県・令和4年度第7回JA福島さくら肉牛枝肉研究会 (和牛去勢9頭、雌15頭 合計24頭出品)

光平栄	隆之国	安福久	和	雌	－	436	－	2,877	A5	99	7.9	12	1,254,372
美国桜	幸紀雄	安福久	和	去勢	－	632	－	2,803	A5	116	9.8	10	1,771,496
(平均値)					－	(513.7)	－	(2,369)		(78.9)	(7.9)	(8.7)	(1,213,942)

◎令和4年11月25日(東京食肉市場) 栃木県・「とちぎ和牛」第39回栃木県肉用牛総合共進会黒毛和種の部 (和牛去勢45頭出品)

幸紀雄	安福久	勝忠平	和	去勢	－	650	－	2,877	A5	98	10.9	12	1,870,050
福之姫	美国桜	平茂勝	和	去勢	－	584	－	2,855	A5	105	10.0	12	1,667,320
(平均値)					－	(585.0)	－	(2,484)		(78.0)	(8.9)	(9.3)	(1,455,395)

◎令和4年11月29日(東京食肉市場) 宮城県・第13回新みやぎ農協あさひな肉牛枝肉共励会 (和牛去勢23頭、雌1頭 合計24頭出品)

美津照重	隆之国	安福久	和	去勢	906	598	66.0	2,951	A5	104	9.1	12	1,764,698
夏百合	勝早桜5	安福久	和	雌	666	438	65.8	3,002	A5	74	7.1	12	1,314,876
(平均値)					(902.0)	(581.0)	(64.4)	(2,516)		(83.2)	(8.9)	(10.0)	(1,462,851)

◎令和4年11月29日(東京食肉市場) 新潟県・令和4年度新潟県肉用牛経営者会議にいがた和牛枝肉勉強会 (和牛去勢10頭、雌2頭 合計12頭出品)

福之姫	徳悠翔	第1花国	和	去勢	－	521	－	2,506	A5	69	9.7	11	1,305,626
幸紀雄	隆之国	勝忠平	和	去勢	－	570	－	2,500	A5	82	9.4	9	1,425,000
(平均値)					－	(521.6)	－	(2,345)		(70.5)	(8.5)	(7.7)	(1,225,876)

◎令和4年11月29日(東京食肉市場) 栃木県・「とちぎ和牛」令和4年度栃木県・県北地区JA和牛枝肉研究会 (和牛去勢23頭出品)

勝早桜5	安福久	百合茂	和	去勢	－	625	－	2,921	A5	91	10.4	12	1,825,625
紀多福	耕富士	安福久	和	去勢	－	621	－	2,804	A5	88	9.4	11	1,741,284
(平均値)					－	(579.4)	－	(2,404)		(76.7)	(9.0)	(8.0)	(1,395,861)

子牛市場情報

和牛素牛全国主要市場成績令和4年11月度 ― 雌・去勢計の高値上位10市場(11月30日時点) ―

都道府県	市 場		性	上場頭数	平均価格 円/頭(税込)	体重 kg	単価 円/kg	前回平均 円/頭(税込)	前回比 %
黒毛和種	全国計		雌	12,189	566,908	282	2,008	550,396	103
			去	15,757	679,982	307	2,213	655,863	104
			計	27,946	630,663	296	2,128	610,146	103
1 兵 庫	淡 路		雌	113	843,496	242	3,489	776,865	109
			去	172	851,234	264	3,228	742,446	115
			計	285	846,254	255	3,319	756,315	112
2 兵 庫	但 馬		雌	145	811,125	230	3,526	783,879	103
			去	168	833,145	252	3,311	782,847	106
			計	313	823,788	242	3,407	783,298	105
3 北海道	北 見		雌	101	615,388	311	1,981	628,668	98
			去	183	728,784	343	2,125	745,572	98
			計	284	689,185	332	2,078	691,683	100
4 宮 城	総 合		雌	526	644,569	296	2,180	616,163	105
			去	663	712,513	326	2,182	647,664	110
			計	1,189	682,455	313	2,182	634,422	108
5 北海道	十 勝		雌	875	610,202	311	1,962	651,772	94
			去	1,109	737,293	329	2,242	758,077	97
			計	1,984	681,305	321	2,123	712,769	96
6 熊 本	熊 本 県		雌	446	589,930	290	2,033	548,478	108
			去	596	736,722	322	2,287	639,634	115
			計	1,042	674,260	309	2,185	600,277	112
7 北海道	南 北 海 道		雌	716	589,863	308	1,914	642,012	92
			去	1,047	721,506	328	2,203	762,212	95
			計	1,763	668,101	320	2,090	711,228	94
8 秋 田	総 合		雌	151	579,067	306	1,893	554,441	104
			去	198	714,769	336	2,129	698,844	102
			計	349	656,224	323	2,031	640,302	102
9 鳥 取	中 央		雌	141	637,680	274	2,322	605,239	105
			去	186	665,216	303	2,194	647,787	103
			計	327	654,674	290	2,249	626,828	104
10 鹿児島	曾 於		雌	565	591,402	282	2,099	503,505	117
			去	686	705,248	312	2,261	648,064	109
			計	1,251	653,830	299	2,189	584,186	112

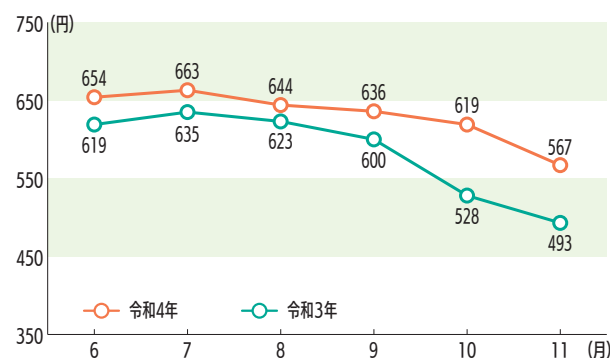


豚肉

10月の全国豚出荷頭数は、1,391千頭(前年比98.2%)と前年を下回った。地域別出荷頭数を前年比で見ると、北海道101.8%、東北97.9%、関東98.1%、北陸甲信越98.7%、東海102.2%、近畿100.3%、中四国100.6%、九州・沖縄96.1%だった。全国と畜頭数の11月の速報値は、1,417千頭(同94.2%)と前年を下回る見込み。

10月の輸入通関実績は、豚肉全体で75.8千t(前年比97.3%、前月比104.4%)と前年を下回った。内訳は、チルドが28.2千t(同84.0%、同95.8%)、フローズンは47.6千t(同107.3%、同110.3%)となった。国別で見ると、チルドは価格高騰から必要最低限の数量に絞る傾向にあり、各国とも減少。フローズンではデンマーク、メキシコ、チリ、オランダからの輸入量が増加した。

豚枝肉「上」の卸売価格(東京食肉市場)



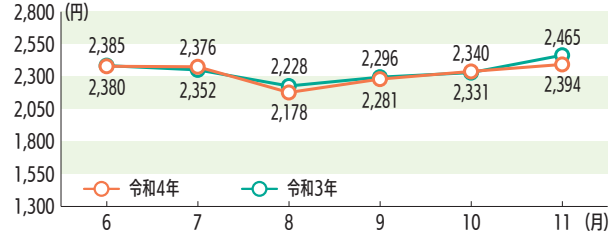
牛肉

10月の成牛と畜頭数は、91.8千頭(前年比101.5%)と前年を上回った。内訳を見ると、和牛40.5千頭(同99.8%)、交雑牛21.8千頭(同109.2%)、乳牛去勢10.7千頭(同84.1%)となった。

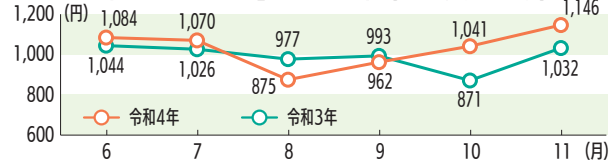
10月の輸入通関実績は、全体で48.6千t(前年比88.1%、前月比93.6%)と前年・前月を下回り、内訳ではチルド14.6千t(同71.0%、同85.6%)、フローズン34.1千t(同98.2%、同97.5%)となった。輸入相手国別では、チルドは現地相場の高止まりや入船遅れにより米国や豪州が約3割減少したことが影響し、大きく減少した。一方でフローズンは、前月に続き米国からのショートプレートが増加したが、豪州からの加工原料肉が大きく減少したため下回った。

総務省発表の10月度家計調査報告によると、全国2人以上の1世

和牛枝肉「去勢A-4」の卸売価格(東京食肉市場)



乳用枝肉「去勢B-2」の卸売価格(東京食肉市場)



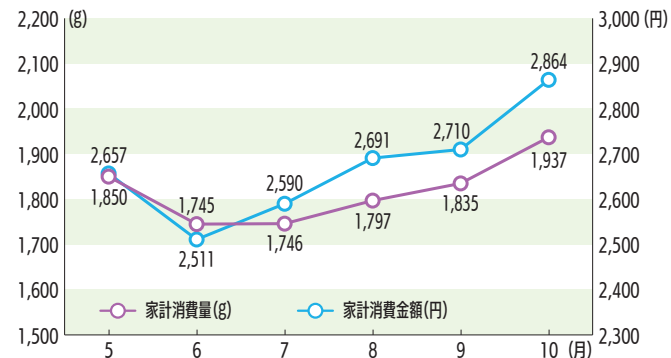
総務省発表の10月度家計調査報告によると、全国2人以上の1世帯あたり豚肉購入数量は1,937g(前年比99.1%)、支出金額が2,864円(同106.5%)となり、購入量は前年を下回ったが、金額は前年を上回った(※2019年度比:購入量107.1%、金額112.1%)。

11月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、567円/kg(前年比115.2%)と前年を上回った。「全国旅行支援」による外食の回復やコロナ感染者数増加による肉食増加の影響で需要は増加したが、肉豚出荷の絶対数の増加や輸入解凍品の販売増加が見られたことなどから、需給が緩み弱含みとなった。

12月の相場は、11月と同様の理由で需要は底堅いと思込めることから、需給が引き締まり、月後半にかけて強含みで推移すると思われる。

【令和5年1月の相場予想】※東京市場 上物・税込570円

豚枝肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



帯あたり牛肉購入量は533g(前年比105.8%)、支出金額が1,779円(同101.1%)となり、購入量及び支出金額は緊急事態宣言明けで肉食需要が大きく低下していた前年を上回った(※2019年度同月比:購入量111.5%、金額116.9%)。

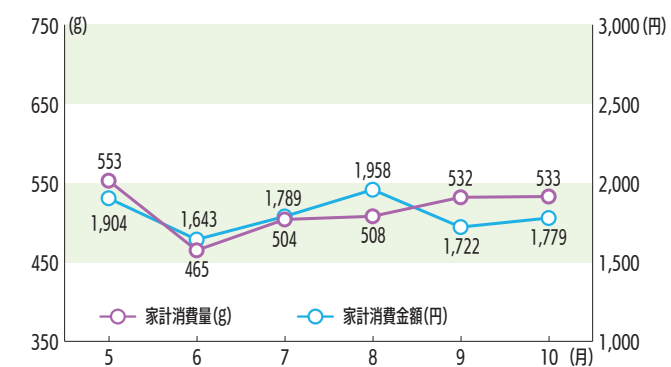
11月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、和牛去勢A5が2,669円(前年比98.3%)、A4が2,394円(同97.1%)、交雑牛B3が1,523円(同104.7%)、乳牛去勢B2が1,146円(同111.0%)だった。和牛・交雑牛は弱含みとなった一方、乳牛去勢は、輸入代替としての引き合いが強く、一部の部位では需給が逼迫したことで強含みとなった。

12月の枝肉相場は、新型コロナ第8波の影響から不透明なもの、和牛・交雑牛は強含み、乳牛去勢はもち合いを見込む。

【令和5年1月の相場予想】※東京市場 税込

◎和牛去勢A4:2,350円 ◎交雑去勢B3:1,450円 ◎乳牛去勢B2:950円

牛肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



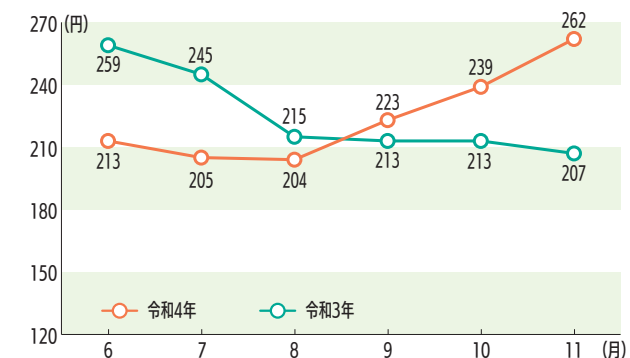
鶏卵

10月の全国の餌付け羽数は7,980千羽(前年比86.7%)。東西別の実績では前年比をともに下回った。東日本は89.2%となり、特に北海道エリアで51.3%と大幅に減少した。西日本も83.8%と下回り、特に中国エリアでは48.9%と減少した。各エリアで生産意欲の低下がうかがえることから、今後の生産量の変動に引き続き注視が必要だ。

10月の鶏卵の1人あたり家計消費量は955g(前年比101.4%、前々年比97.1%)。コロナ禍前の令和元年比では102.9%となっており、家計消費も高水準で推移した。

11月の東京相場の月間平均は、Mサイズ262円(前年比+55円、前月比+23円)。需要面は、鶏卵の喫食機会が増え、テーブルエッグは堅調な荷動きだった。また、全国旅行支援、

鶏卵取引価格・全農たまごMサイズ基準値(東京)



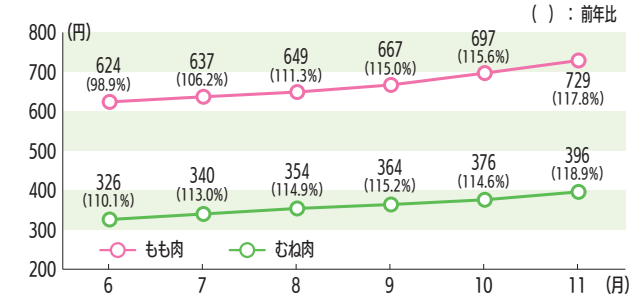
鶏肉

生産・処理動向調査によると、10月の推計実績は処理羽数62,879千羽(前年比99.4%)・処理重量189.8千t(同100.0%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は2.0%上方修正され、ほぼ前年並み、処理重量は前月時点の計画値から1.0%上方修正され、ほぼ前年並みとなった。育成は暑さが和らいだことで食餌量が戻り、増体も良かったことがうかがえる。

財務省が11月29日に公表した貿易統計によると、10月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から7.1千t増の53.9千t(前年比2.7千t増)。国別ではブラジルが7.1千t増、タイが0.2千t増となっている。10月実績は前月輸入量より増加し、11月以降は前月に比べ減少が予想される。ブラジル・タイ産は値下がりしている状況。しかし、鳥インフルエンザの影響で国産モモ肉が大幅に不足し、価格は値上がりしている。

10月の推計期末在庫は国産25.2千t(前年比72.7%・前月

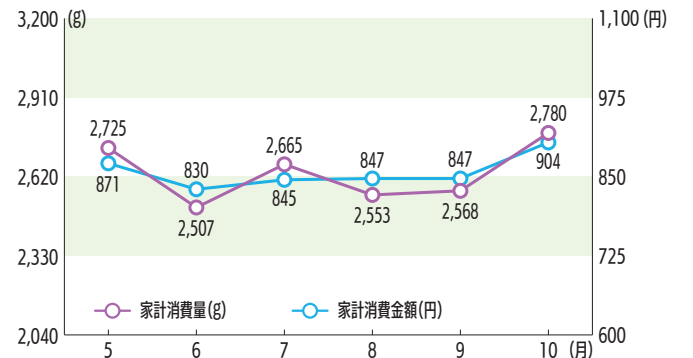
ブロイラー(正肉)市況の推移



インバウンド需要の回復が期待できるため、更なる需要の増大が見られた。加工筋においては、最需要期に向けて、強い引き合いが継続している。

今後、供給面は鳥インフルエンザの影響が長期化する見通しで、より一層供給量が低下する懸念もある。産地在庫は全体的に不足感の強い状況になることが考えられ、今後の感染拡大を注視する必要がある。需要面では、気温の低下による鍋物等の喫食機会増加や、人流増加が見込まれる全国旅行支援、インバウンド需要の回復が期待できるため、更なる需要の押し上げが考えられる。また、年末催事による小玉の引き合いも強まることが予想される。相場はテーブルエッグ、業務筋等の堅調な需要を背景に、強含みの展開になる見込み。

鶏卵の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



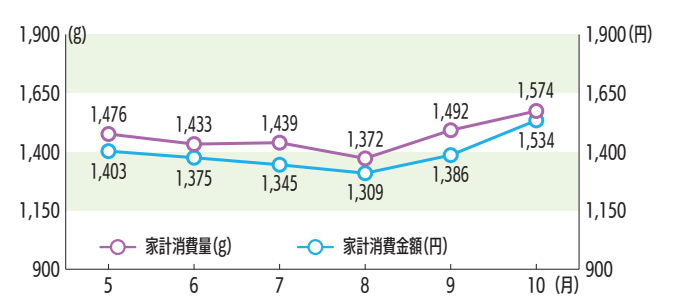
差-0.6千t)、輸入品127.5千t(同117.8%・同+6.3千t)と合計で152.7千t(同106.9%・同+5.6千t)となった。

11月の月平均相場は、もも肉729円/kg(前月差+32円)・むね肉396円/kg(同+20円)、正肉合計で1,125円/2kgと前月を52円、前年同月を173円上回った。もも肉相場は月初710円、月末は750円となった(昨年は月初616円、月末627円で11円の上げ)。昨年の相場より大幅に上回り、4カ月連続で正肉価格が1,000円を超えた。

12月の生産量は、前年より若干下回る計画。しかし、国内の鳥インフルエンザの発生が31例目まで報告(12月8日時点)されており、年末及び1月以降の生産量への影響が考えられる。需要面では、外食産業が回復基調にある。輸入品は下げ基調だが、国産鶏肉はタイトな状況が続き、価格も高水準で推移していく見通し。もも肉相場は上げの月平均770円、むね肉相場は上げの月平均410円と予測する。

【令和5年1月の相場予想】 ◎もも肉:770円 ◎むね肉:410円

ブロイラーの家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



リニューアルのお知らせ

「ちくさんクラブ21」は、4月発行号から 誌面をリニューアルいたします

これまで年6回発行、隔月で皆さまのお手元に「ちくさんクラブ21」をお届けしてまいりましたが、次年度より更にボリュームアップして、年4回発行で、季節ごとに旬の情報をお届けいたします。詳細につきましては、2月発行号及び、ちくさんクラブ21Webサイトで発表いたします。

「ちくさんクラブ21」では、引き続き、読者の皆さまのご要望に応える誌面づくりをしてまいりますので、どうぞご期待ください。

どの企画が
お気に入り?

ちくさんクラブ21 Webサイト 閲覧ランキング!

畜産の“今”をお伝えするちくさんクラブ21のWebサイト。
最新の畜産情報から、営農に役立つ技術情報まで満載です!!
是非、ご覧ください。

1位 牛サルモネラ症の
対策について詳しく紹介!
141号 Dr.ジニア



2位 根強い人気!!
サンパエの効果的な対策!
139号 教えて! 中研

今すぐチェック!

ちくさんクラブ21
(chikusan-club21.jp)



3位 拡大する中国の牛肉市場を特集!!
140号 海外レポート

※令和4年11月1日～11月30日までの閲覧数を計測。

今回のテーマ

- ▶ どんな衛生管理や病例、事故事例を知りたいですか?
- ▶ 来年はどんな1年にしたいですか? 目標を教えてください。

プレゼント

締め切り
2023年
1月25日到着分
まで



本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。申し込みはとじ込みハガキ・FAX用紙・QRコードをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

JA全農長野より

「ワッサー(桃ジャム)・
ハーコット(アンズジャム)」
ワッサー×2本、ハーコット×1本

3名様

ちくさんクラブ21及びハガキ・
FAX・メール、アンケートの個人
情報保護法対応

ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただくこともあります。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。<https://www.zennoh.or.jp>



表紙写真
第12回 全国和牛能力共進会受賞者の皆さん、ミルクファームすぎやまの皆さんと関係者の皆さん

編集委員
鈴木和明/中尾山隆司/剣持和幸/澤明/森本哲生/嶋亮一/相良倫成/内堀寛之/江崎尚二/泉瑞枝/出雲智子/児玉博士/加藤美和/笹渡翔/岩橋かをり/小宮山大介

発行元
JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236 FAX03-5218-2526

編集後記

第12回全国和牛能力共進会に取材で参加させていただきましたが、どの県も自信のある牛を出品しているだけあって非常にレベルが高い大会で大変勉強になりました。

特に今回大会で新設された特別区では、学生とは思えないレベルのプレゼンテーションにはじまり、家族のように接して育てている牛が表彰されて喜んでる様子は見ているこちらにも嬉しくなりました。未来の担い手たちのこれからの活躍に期待です! (d.k.)



令和4年12月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

読者の広場

気がつけばあっという間に1年が過ぎました。2022年は5年に1度の和牛全共開催の年。大会に向けて入念な準備をされてきた皆さんにとって、感慨深い1年だったと思います。今回はちくさんクラブ21のWebサイトにあると嬉しい機能と、開催を期待するセミナーや勉強会についてうかがいました!

読者からひと言

- 今の種牛の中で、活躍しているものや状況を知りたい。
(長崎県・肉用牛繁殖 門前さん)
- 2022年6月から哺育センターにて仕事をするようになりました。初めての分野で楽しいやら、迷うことやら!頑張りたいです。
(京都府・和牛 ひまわりさん)
- 「一生懸命」の記事では、皆さんの頑張りを読んで、自分も頑張らないと、いつも思われます。
(岩手県・肉牛(繁殖) 匿名希望さん)

ちくさんクラブ21のWebサイトに あると嬉しい機能はなんですか?

- 読者の質問に専門家の方が答えるコーナーなどがあると嬉しいです。
(宮城県・和牛繁殖 もあいさん)
- 牧草、肥料等の種類が分かりやすい機能。
(京都府・和牛 ひまわりさん)

どのような畜産セミナーや勉強会の 開催を期待しますか?

- 種牛(血統) (岩手県・和牛 匿名希望さん)
- 牛白血病の対策・予防等、また、今後の見通し。
(兵庫県・繁殖和牛 匿名希望さん)
- 肥育農家では、どのように牛を育てているか見たいです。子牛を育てるうえで、色々勉強できると思うので。
(宮城県・和牛繁殖 もあいさん)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。

「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

見て
みて!

うちの農場

～高等学校編～

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

鹿屋農業高等学校では、現在、畜産科の生徒が和牛84頭を飼育し、すばらしい外貌と優れた肉質の和牛生産を目指して日々頑張っています。本校には、農業経営者育成寮があるので、県内だけでなく、県外からも意欲ある学生が入学しており、農場では専門知識と技術の継承を図るために3学年合同の実習に重点を置いて活動しています。部活動として、放課後や休日にも農場へ足を運び、朝から夕方まで牛舎で活動するなど、高校生活100%が牛と共にある学校です。

農場で働くご家族、従業員の方などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。



肥育牛と畜産科の
皆さん

丁寧に
フラッシング
する様子

